

平成24年度ひょうご安全の推進事業(助成金) 実績一覧

| 番号 | 県民局 | 事業名 | 実施団体 | 実施月日 | | | | | 実施場所 | 事業形態と主な実施内容 | 参加者数 (人/部) |
|----|-----|---------------------------------------------------|-----------------------|------|----|---|----|----|----------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------|
| | | | | 月 | 日 | ～ | 月 | 日 | | | |
| 1 | 神戸 | 1.17から3.11へ、防災のこころを伝える絵手紙展 | (特非)ニティイ | 9 | 1 | ～ | 3 | 31 | 人と防災未来センター、被災地小学校ほか | ・「防災のこころを伝える絵手紙教室」を各地で開催。 ・人と防災未来センター、神戸マラソン会場等に展示し、来場者に「伝える」「備える」ことの必要性を訴えた。 ・絵手紙を利用した防災カレンダーを作成し、配布した。 | 46,800 |
| 2 | 神戸 | ひょうご防災劇場 | ひょうご防災劇場 | 9 | 1 | ～ | 1 | 13 | 県民会館、神戸市幼・小・中学校 | ・地震学習劇「じしんばあばとケイゴのひみつきち」、地震対策を身体で覚える「防災ダンス」を制作。 ・DVD等を市内の学校に無料配付し、防災教育を支援した。 ・親子で考える防災クイズを加えたパッケージとして、上演・展示を行った。 ・防災犬のキャラクターを制作した。 | 732 |
| 3 | 神戸 | やさしい防災・減災カルタによる地域・学校における防災学習の推進 | NPO法人兵庫県暮らしにやさしい防災・減災 | 9 | 1 | ～ | 3 | 31 | 小学校、幼稚園及び高齢者、障害者施設など | ・幼い子どもや高齢者、障害のある方を含め、みんなの命を災害から守ることを願い創作した「防災・減災カルタ」や「ぬり絵」「紙芝居」等を用いて、簡単(simple)・平易な(easy)・親切(kind)なやさしい防災教育を行った。 | 545 |
| 4 | 神戸 | ～心の手をつなごう 東北の子ども達・神戸の子ども達～ 絵画を通じた東北支援・命のサクラプロジェクト | アトリエ太陽の子 | 10 | 1 | ～ | 3 | 29 | アトリエ太陽の子教室・東北被災地の小学校 | ・神戸の子ども達が東北の子ども達に思いを寄せて描いた復興のシンボル「命の一本桜」を東北へ届けた。 ・被災地の学校で創作の授業を実施 ・被災地の仮設住宅集会所にて大人向けのワークショップを開催 ・神戸にて、現地活動の報告会を開催 | 1,700 |
| 5 | 神戸 | 第3回学生防災書道展 | (特非)健康まちづくり推進協会 | 2 | 15 | ～ | 2 | 17 | 原田の森ギャラリー | ・兵庫県下及び東日本被災地の小中高校生を対象に、防災、震災、復興、救命等をテーマとする書道作品を募集し、優秀な作品を展示・表彰 ・優秀作品の表彰式には、被災地の学生代表を招待し、人と防災未来センターにて、県下の学生と交流を実施 | 5,000 |
| 6 | 神戸 | 防災カルチャーの実践「助けよう、生き残るぞ!」の教訓を伝える | 兵庫県隊友会神戸西支部 | 9 | 1 | ～ | 12 | 31 | 三木山森林公園ほか | ・自主防災組織を対象として、被災下をイメージしたワークセミナーを開催、防災学習施設を見学。 ・サバイバル基礎知識技術の啓発ブース(展示と訓練) ・ひょうご防災リーダー講座の紹介や、ロープワーク、炊き出し訓練などを通して、災害に立ち向かえる人と地域の育成に寄与した。 | 588 |

| 番号 | 県民局 | 事業名 | 実施団体 | 実施月日 | | | | | 実施場所 | 事業形態と主な実施内容 | 参加者数 (人/部) |
|----|-----|-----------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------|------|----|---|----|----|---------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------|
| | | | | 月 | 日 | ～ | 月 | 日 | | | |
| 7 | 神戸 | 「issue + design」プロジェクト2012 - 超高齢社会 + デザイン - ～ 阪神・淡路大震災以降、顕在化した無縁社会(孤独死)に対してデザインは何が可能か?～ | issue + design実行委員会 (神戸市) | 9 | 1 | ～ | 3 | 31 | デザインクリエイティブセンター神戸ほか | ・長高齢社会 + デザイン(生活習慣病 無縁社会(孤独死) ココロの健康)をテーマに開催 ・特に 無縁社会では、高齢化率50%を越す復興住宅での「孤独死」対策や見守り活動など、これまで神戸で蓄積された経験、結果をもとに新たな提案。 ・昨年度は、避難所活動支援ツール「できますゼッケン」を提案、気仙沼v.cで採用された。 | 320 |
| 8 | 神戸 | 1.17メモリアルコンサート「白い雲のかなたに」 | 神戸室内オペラ | 1 | 13 | ～ | 1 | 13 | 東灘区民センター うはらホール | ・阪神・淡路大震災を題材にしたオペラ「白い雲のかなたに」の上演により、あの震災もう一度思い出し、命の大切さ、助け合いの心、安全に対する意識を考える機会となった。 ・県外からも多くの参加を得て、震災を乗り越えた兵庫からの発信ができた。 | 190 |
| 9 | 神戸 | ～人とつながる安心・安全な地域社会づくりをめざして～「青少年活動コア・リーダー養成研修」 | (公財)兵庫県青少年本部 | 9 | 15 | ～ | 10 | 14 | 県自治研修所 | ・安全・安全な地域社会づくりにかかわる様々なワークショップの中で、受講生自身が地域を守るための青少年活動を通じた実践的な取り組みを充実・発展させ、青少年防災リーダーの育成に繋げることができた。 ・東日本大震災を経験した今、次代を担う世代が復興支援に携わるリーダーから体験を聞くことで、地域全体の防災意識の向上に貢献できた。 | 29 |
| 10 | 神戸 | 第4回みなと町神戸ツデーマーチ・震災モニュメントウォーク | 神戸ウオーキング協会 | 9 | 29 | ～ | 9 | 30 | みなとのもり公園ほか | ・復興した神戸市内を全国に発信、東コースでは、人と防災未来センターの見学、西コースは、数々の震災モニュメントを案内。 ・会場では、震災パネル展等を開催、東北への応援メッセージも発信した。 ・神戸市消防の協力を得て、地震体験車「ゆれるん」で、参加者に体験コーナーを設けた。 | 2,015 |
| 11 | 神戸 | 家具固定作業と耐震改修の普及啓発のための教材作成、研修会・無料相談会、要援護者支援としての家具固定実施 | (特非)安心安全のまちづくり機構 | 9 | 1 | ～ | 3 | 31 | 兵庫県下の自治会館ほか | ・これまでに実施してきた家具固定で課題となった壁下地や家具構造の見極めと対処方法をまとめた電子教材や、家具固定に続き、重要となる耐震補強に関する啓発のための電子教材を作成し、HPで配信 ・自治会等を対象に研修会・相談会を開催するほか、要援護者宅にて家具固定を実演・実施 | 489 |
| 12 | 神戸 | 子どもが作る防災学習ノート | 一般社団法人兵庫県子ども会連合会 | 11 | 17 | ～ | 3 | 15 | 兵庫県福祉センター他 | ・防災訓練や地域防災の現状において、子どもが主体となって実施している例が少ない。子どもが主体となって活動できるよう、子ども委員10名が体験を交えながら子どもの目線で学習できる防災学習ノートを作成(1,000部)。 | 1,000 |
| 13 | 神戸 | 高齢者の状況とニーズに基づいた防災のあり方 | (特非)兵庫県レクリエーション協会 | 10 | 1 | ～ | 3 | 20 | 県内10か所 | ・高齢者を対象に、阪神・淡路大震災等を教訓として「防災活動を進めるためには、日常生活の中でどのような取り組みが必要か」をヒアリングし、レクリエーション手法を活かしたプランを作成し、老人クラブや老健施設等へ提案 ・ウォークラリー等により地域の建物や自販機などを把握し、災害時の避難マップづくりに役立てたり、ゲームを通しての仲間づくりなどを考えた。 | 96 |

| 番号 | 県民局 | 事業名 | 実施団体 | 実施月日 | | | | | 実施場所 | 事業形態と主な実施内容 | 参加者数 (人/部) |
|----|-----|--------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------|------|----|---|----|----|---------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------|
| | | | | 月 | 日 | ～ | 月 | 日 | | | |
| 14 | 神戸 | 民団防災対策委員会「阪神・淡路大震災18年事業」 | 韓国民団兵庫県支部防災対策委員会 | 9 | 1 | ～ | 3 | 31 | 兵庫韓国文化教育院会館、各支部会館ほか | ・民団防災の日事業として、防災に関する講演会、避難訓練、心肺蘇生法、炊き出し等を実施 ・阪神・淡路大震災18年記念式典 ・東日本大震災と地域を考える集いの開催 ・県広域防災センター、人と防災未来センター見学、ひょうご防災特別推進員による防災学習会の開催 | 1,200 |
| 15 | 神戸 | 阪神・淡路大震災 体験の継承・防災啓蒙・まちづくり活動インターネット放送事業 | 1.17ブロードバンドTV | 10 | 1 | ～ | 3 | 31 | インターネット配信 | ・阪神・淡路大震災への各地からの支援に対して、感謝の気持ちを伝えるために実施された「防災・減災」行事を撮影・制作、2005年度から合計482行事、1460時間の番組をインターネット上で動画放送を実施、次世代へ継承。 ・年間平均アクセス32,000件、100,000視聴番組 | 29,000 |
| 16 | 神戸 | 助かる命だみんなて救おう パート 救命意識の高揚を実践する | 神戸市心肺蘇生法を広める会 | 9 | 1 | ～ | 3 | 31 | 県下各施設 | ・救命を含めた応急手当の普及活動から、突然の心肺停止を想定して行う救命講習までを実施 ・市民救命士講習会の開催 ・体験講習会の開催 | 650 |
| 17 | 神戸 | 国際減災フォーラム「減災社会への連携」 | 国際減災フォーラム実行委員会 【兵庫県、人と防災未来センター、国連国際防災戦略兵庫事務所、国連人道問題調整事務所神戸事務所、国際協力機構】 | 10 | 11 | ～ | 10 | 11 | 兵庫県公館 | ・基調講演「国際的な防災・減災の取り組み」、鼎談「自然災害と国際支援」 ・講演「アジア・太平洋州地域における大規模自然災害時の国際緊急支援 - その特徴と課題 -」、パネルディスカッション ・メッセージ発信「減災社会実現に向けた効果的な応援・受援の取り組みの促進と「人と防災未来センター」の機能強化に向けた提言」 | 300 |
| 18 | 神戸 | つなげよう音楽の絆・ひろげよう防災の輪神戸JAZZ2012 Students meet NANIWA EXP | 神戸JAZZ実行委員会 | 10 | 13 | ～ | 10 | 14 | 神戸文化ホール | ・中高生とプロによるジャズフェスティバルを開催、音楽で結ばれた絆を通じて、青少年に防災の重要性を伝えた。 ・防災特別推進員による、防災セミナー、避難訓練を実施、パンフレットには減災グッズチェックリストを掲載。 ・宮城県石巻北高校から3名を招き、復興の現状のお聞きした。 ・ネット中継による全国配信で、神戸・宮城の被災地交流を紹介。 | 1,140 |
| 19 | 神戸 | 災害から障がいを持っている方を守る！東日本大震災 被災作業所復興応援イベント | ガリレオクラブインターナショナル | 12 | 7 | ～ | 12 | 10 | メリケンパークひろば | ・東北から障がいを持っている方を招き、震災を乗り越えた神戸の作業所のみなさんと交流会を実施。 ・11/10,11の2日間、メリケンパークにて作業所の自主製品を販売する東北応援市を開催。 ・人と防災未来センターの見学や、神戸の復興した街を散策し、災害から地域をまもるつながりの大切さ実感した。 | 3,000 |

| 番号 | 県民局 | 事業名 | 実施団体 | 実施月日 | | | | | 実施場所 | 事業形態と主な実施内容 | 参加者数 (人/部) |
|----|-----|--------------------------------------------------------------|-----------------------|------|----|---|----|----|-----------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------|
| | | | | 月 | 日 | ～ | 月 | 日 | | | |
| 20 | 神戸 | 「1.17希望の灯り」を用いたランプワーク・デモンストレーション | ジャパンランプワークソサエティ | 11 | 9 | ～ | 11 | 11 | デザインクリエイティブセンター-神戸 | ・震災犠牲者鎮魂のシンボルとして灯り続ける「1.17希望の灯り」の分灯をランプの火種に用いて、海外アーティストによるガラス工芸のデモンストレーションを実施。灯りに託された鎮魂と再生への思いを紹介。 ・東遊園地の「慰霊と復興のモニュメント」を訪れることで、防災・減災への理解を深めた。 | 1,048 |
| 21 | 神戸 | ひょうご・防災フェスタ | 波止場音横丁実行委員会 | 11 | 10 | ～ | 11 | 10 | 兵庫楽農生活センター | ・元気アップステージの開催 ・地震対策を考える演劇や防災ダンスの上演 ・防災啓蒙コーナーで、住まいの耐震・室内安全対策、フェニックス共済加入促進等を実施 ・避難者手作り品の展示販売、地域住民との交流会などの開催 ・兵庫楽農生活センター秋の収穫祭と同時開催 | 2,560 |
| 22 | 神戸 | レッドベア 火育 + サバイバルキャンプ | (特非)プラス・アーツ | 11 | 10 | ～ | 11 | 11 | 神戸市立地域人材支援センター | ・阪神・淡路大震災の被災者から教わった防災の教訓や智恵をもとに考えた体験型防災プログラムと、生き抜く智恵や道具の使い方を学び困難な状況にも対応できる人間力を育むキャンプを開催。 ・実際に避難所として使われていた旧二葉小を会場に、当時の避難所運営にかかわった方の体験を聞き、避難所生活の体験する良い機会となった。 | 81 |
| 23 | 神戸 | 阪神・淡路大震災・東日本大震災と海外被災地の経験から新たな市民防災・復興対策を国際シンポジウム・ハンドブックで伝える事業 | 防災・復興の国際シンポジウム実行委員会 | 11 | 18 | ～ | 11 | 18 | 中華会館東亜ホール | ・防災・復興をテーマに国際シンポジウムを開催、県民とともに地震、津波、風水害、竜巻に備える防災・復興の制度設計と市民の役割を議論する。米国や台湾、東北から、研究者・被災者・支援者を招き、講演・意見交換会を開催。 ・その成果をハンドブックとして取りまとめ、広くHPで発信。 | 90 |
| 24 | 神戸 | Techno-Ocean2012～安心の海、そして豊の海へ～ | Techno-Ocean2012実行委員会 | 11 | 18 | ～ | 11 | 20 | 神戸国際会議場 | ・基調講演(東日本大震災を踏まえ、アメリカ・フランス・日本を代表する研究機関から、各国の災害等について報告や、気候変動や自然災害に密接に関係する海についての研究発表) ・学生ポスターセッションや、小学生向けのセッションを開催 ・展示会、水中ロボット競技会、絵画展など | 8,978 |
| 25 | 神戸 | 第4回ひょうご子どもサミット・国際防災ミーティング | (特非)グローバルプロジェクト推進機構 | 11 | 23 | ～ | 11 | 24 | 学校厚生会館・海外移住と文化の交流センター | ・阪神、東北、海外の教員・生徒が神戸で集い、阪神・淡路大震災、東北大震災の経験・教訓から生まれた防災教育・防災活動のノウハウを教員同士、生徒同士が学び合う国際防災ミーティングを開催した。 ・意識啓発だけでなく、行動を誘発することができた。 | 89 |

| 番号 | 県民局 | 事業名 | 実施団体 | 実施月日 | | | | | 実施場所 | 事業形態と主な実施内容 | 参加者数 (人/部) |
|----|-----|------------------------------------------------|----------------|------|----|---|----|----|---------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------|
| | | | | 月 | 日 | ～ | 月 | 日 | | | |
| 26 | 神戸 | 第2回KOBEマラソン開催記念 東日本大震災復興支援 チャリティーライブ | (特非)イベントサポート兵庫 | 11 | 24 | ～ | 11 | 24 | JR三宮駅前・花壇広場 | ・東日本大震災で大きな被害を受けた岩手県で、震災復興に取り組んでいる岩手県立陸前高田高校音楽部を迎え、阪神・淡路大震災の被災地である神戸の高校生との交流や合同演奏会を実施した。 ・県立舞子高校生、市立神港高校による東日本復興ボランティア活動報告を実施。 ・「しあわせ運べるように」を全員で合唱した。 | 2,159 |
| 27 | 神戸 | キッズ防災検定 | (特非)検定協議会 | 12 | 1 | ～ | 3 | 31 | 県内小学校、ウェブサイト | ・阪神・淡路大震災の経験と教訓を活かし、日々の生活の中で防災に対する意識を楽しみながら高める検定を実施。 ・県下の小学校に参加者を募り、子ども向けの防災検定を試験方式で行い、合格者には認定証を発行。 | 13,000 |
| 28 | 阪神南 | 子ども防災ワークショップ2012 in HYOGO & 震災体験と教訓を防災を世界へ発信事業 | (特非)さくらネット | 9 | 1 | ～ | 3 | 31 | 人と防災未来センター、小中高各学校ほか | ・子ども防災啓発用DVD、パネル・リーフレットを作成し、イベントや訓練等で上映や展示を行い防災意識啓発活動に役立てることができた。 ・防災活動・ボランティア活動に取り組む若者同士の交流会の企画を立てる。 | 2,000 |
| 29 | 阪神南 | フェニックス倶楽部コンサートvol.8-遙かな友へ 明日への願いをこめて- | フェニックス倶楽部 | 10 | 25 | ～ | 10 | 25 | 兵庫県立芸術文化センター・小ホール | ・「震災を忘れない、伝える、備える」ことを出演者・観客が深く心に刻み、阪神・淡路大震災及び東日本大震災の犠牲者を追悼する。 ・出演者全員で古今の名曲約20曲を合唱する。 ・会場ホワイエに大震災のパネル・写真・グッズ等を展示し震災時の記憶や教訓を共有する。 | 400 |
| 30 | 阪神北 | “東日本大震災を忘れない”大正琴コンサート | 三田を知る会 | 9 | 1 | ～ | 11 | 20 | フラワータウン市民センター | ・岩手県で被災した大正琴演奏家の演奏及び被災・復興状況を聞き、鎮魂とともに、津波への防災意識を高めることができた。 ・支援活動者や関西に避難している被災者を含めた地域住民との交流を実施。 | 70 |
| 31 | 阪神北 | 宝塚音楽回廊2012 | 宝塚音楽回廊実行委員会 | 10 | 20 | ～ | 10 | 21 | 宝塚市内26箇所 | ・震災を風化させない取組みとして、さまざまなジャンルの音楽演奏を市内各地で実施した。東日本被災地の石巻からミュージシャンを招待、歌とトークで災害時の絆の大切さを伝えることができた。 ・緊急時の観客等に対する避難経路や災害時の対応をスタッフ間で確認。 ・ブースでのフェニックス共済、人防センター案内等を実施した。 | 25,000 |
| 32 | 阪神北 | かわにし音灯り2012～震災鎮魂の祈り～ | 川西市商工会 | 11 | 3 | ～ | 11 | 3 | 川西市総合体育館周辺広場 | ・将来的に防災公園となる予定地にて、防災・減災のイベントを開催。隣接する池田市等からも参加し、防災活動ブースの設置、救護訓練、起震車体験、パネル展示等を実施 ・キャンドルナイト(震災復興への追悼)、追悼コンサート等の実施 ・県境を越えた近隣市町との様々な交流を通して、地域の防災活動の連携を図った。 ・東日本大震災被災地(姉妹都市・千葉県香取市等)の特産品販売 | 6,000 |

| 番号 | 県民局 | 事業名 | 実施団体 | 実施月日 | | | | | 実施場所 | 事業形態と主な実施内容 | 参加者数 (人/部) |
|----|-----|----------------------------------|-----------------------------------|------|----|---|----|----|-----------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------|
| | | | | 月 | 日 | ～ | 月 | 日 | | | |
| 33 | 阪神北 | ～震災経験を語り継ぐ～第5回宝塚チャリティ歌謡コンサート | 花かわち倶楽部 | 12 | 2 | ～ | 12 | 2 | ソリオホール | ・ゲスト歌手、サックス奏者による震災時の話を含めた追悼コンサートを開催した。 ・ひょうご防災特別推進員による「住宅の耐震化」講演を行い、参加者のそれぞれが防災対策を考えることで、地域の連帯意識を向上が図られた。 | 230 |
| 34 | 北播磨 | つみっく防災スクール | (特非)つみっくらぶ | 10 | 14 | ～ | 1 | 17 | 小野市大部小学校、高砂市阿弥陀小学校ほか | ・大型木製ブロック「つみっく」を使い、避難所における「安心空間」「女性更衣室」等、プライベート空間づくりを体験する ・遊びの要素も入れながら、市民や子どもたちと一緒に組み立てた。 ・東北支援の報告と防災士による防災講座をあわせて実施 | 1,880 |
| 35 | 西播磨 | 地域における防災・減災知識の普及啓発事業 | (特非)ひょうご地域防災サポート隊 | 9 | 1 | ～ | 3 | 30 | 県内各地 | ・県下各地域に合った防災・減災に関する知識の普及・啓発を行い、地域の自主的な防災力の向上を図ることができた。 ・防災知識の普及・啓発の出前講座・講演会等(10箇所) ・防災マップづくりの支援活動(2箇所)、防災ワークショップの支援活動(2箇所)、総合防災訓練ブース展示と説明の協力活動(3箇所)、人と防災未来センターの見学会(2回)など | 2,700 |
| 36 | 神戸 | 未来の宝 東北の子どもたちに夢と希望と絆の架け橋プロジェクト | 未来の宝 夢と希望と絆の架け橋プロジェクト実行委員会 | 8 | 19 | ～ | 8 | 23 | 人と防災未来センター、北淡震災記念公園ほか | ・東北(宮城県塩竈市)の子どもたちと淡路の子どもたちが、神戸の高校生とともに、神戸市や淡路市で宿舎・交流しながら、震災について学び、絆をつくることができた。 ・人と防災未来センター、兵庫県広域防災センター、東遊園地、北淡震災記念公園などを訪ね、語り部の話を聞くなど、体験型の防災学習を行った。 ・震災経験を風化させず、防災意識を高めることで、自分を守り、地域に貢献できる人材の育成に寄与した。 | 80 |
| 37 | 神戸 | 被災地学生交流事業会『復興まちづくりすごろく』 | 被災地学生交流事業会 | 10 | 27 | ～ | 1 | 27 | 人と防災未来センター、岩手県立大槌高校 | ・大槌町の復興をゴールとし、そのためにはどのような復興アクションを起こしていくかということについて、神戸大生と大槌高校生がワークショップを開催。 ・すごろくという形で取りまとめることによって、来年度以降の高校生による復興まちづくりの具体的な行動と方向性を定めることができた。 ・神戸に大槌高校生3名を招き、震災復興にかかわった関係者との交流、震災復興したまち歩き、人と防災未来センターの見学、神戸市内のメモリアルの見学等を通じて、大槌町の復興に生かせる知見を得ることができた。 | 70 |
| 38 | 神戸 | HAT神戸連携防災イベント「イザ！カエル大キャラバン！2013」 | HAT神戸連携防災イベント「イザ！カエル大キャラバン！」実行委員会 | 1 | 1 | ～ | 1 | 27 | 兵庫県下 | ・「ひょうご安全の日」である1月17日を捉え、防災、国際、アートをキーワードとしてHAT神戸エリア関係機関が連携し、楽しみながら防災が学べる防災教育アートプログラム「イザ！カエルキャラバン！」を核として、効果的なイベントを開催。 ・神戸市教委と連携し、HAT神戸周辺の全児童へのPR、防災教育、啓発活動を実施。 ・広く市民が参加するイベントを通して地域コミュニティの再構築、貴重な震災経験を次世代に継承することができた。 | 1,000 |

| 番号 | 県民局 | 事業名 | 実施団体 | 実施月日 | | | | | 実施場所 | 事業形態と主な実施内容 | 参加者数 (人/部) |
|----|-----|-----------------------------------------|-------------------|------|----|---|---|----|-----------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------|
| | | | | 月 | 日 | ～ | 月 | 日 | | | |
| 39 | 神戸 | 震災・津波・防災について考える防災事業及び1.17追悼式 | あわせの会 | 12 | 22 | ～ | 1 | 18 | 日吉町5丁目ポケットパーク | ・1.17を風化させないように小学生と地域住民と一緒に語り合った。 ・炊き出し訓練を実施。 ・津波についての学習会を開催。 ・東北各地や新潟・山古志など、神戸と全国の災害被災地との交流事業を実施。全国の被災地との連携・交流を続けることにより、災害を風化させない。 | 800 |
| 40 | 神戸 | 阪神・淡路大震災 防災減災行事記録継承事業 | 1.17防災減災行事記録継承委員会 | 1 | 1 | ～ | 2 | 15 | インターネット番組 | ・震災10周年時より、防災減災関係シンポジウム等のビデオ記録撮影を実施。50年後の社会に伝える事業を記録。 ・2013年1月に実施の8行事16番組を撮影・編集し、保管。 ・防災減災事業の記録は、震災体験のない学生等やマスコミ関係者に震災を正しく理解させる教材として有効活用されている。 | インターネット中継 |
| 41 | 神戸 | 親と子の体験型復興塾～みんなで作るバンブーハウス+ライブ中継～ | 近畿市民安全講座企画ユニット | 1 | 1 | ～ | 3 | 31 | 六甲アイランド中学校、高砂市島公民館ほか | ・県下の学校、公民館等で親子が参加できる防災イベントを開催。会場の様子をネットのライブ中継で、全国から視聴可能とし、広く防災イベントへの参加を可能とした。 ・竹材を使用したテントハウスの作成や、空き缶での炊飯体験、室内安全対策の指導。 ・建築士や防災特別推進員が協力し、市民との人的ネットワークを結ぶことで、地域防災力の向上を図った。 | 302 |
| 42 | 神戸 | シンサイミライPROJECT2013 | NPO法人 Co.to.hana | 11 | 19 | ～ | 3 | 31 | 人と防災未来センター、神戸市内、東北被災地 | ・命を守る防災事業として「子どもBOSA」カフェを開催(保存食・非常食の料理の体験と、カフェ形式での提供訓練)。NHKシンサイミライ学校プログラムとして全国放送。 ・子どもたちが食の備えや非常時の創意工夫を学ぶ機会とする。神戸からのメッセージを東北に届けることで互いに震災を考えるきっかけになった。 ・シンサイミライノハナによるメッセージ募集(花びらの形のカードにメッセージを記入してもらいそれを街中及び東北被災地等で展示発表) | 20,000 |
| 43 | 神戸 | 東日本大震災の復旧・復興支援と災害復興制度確立に向けた教訓の継承と情報発信事業 | 兵庫県震災復興研究センター | 1 | 1 | ～ | 3 | 31 | 神戸市産業振興センターほか | ・東日本一年半の検証作業をまとめた「東日本大震災 復興の正義と倫理-復興への50の検証と提言」を活用したシンポジウムやセミナーを開催。 ・同資料を国内外に配布(700部)、これまでの検証成果を発信し、今後の災害復興制度確立の一助とする。 | 1,000 |
| 44 | 神戸 | 知的障害者のための防災学習と被災地交流支援事業 | 近畿グループホームスタッフ研修会 | 1 | 1 | ～ | 3 | 31 | 兵庫県下、宮城県、福島県 各被災地 | ・東日本大震災被災地におけるグループホーム入居者、支援者に語ってもらい、障害児・者を対象とした研修会を開催(同時に防災訓練、防災教材を作成) ・グループホームでの家具転倒防止講習会の開催。 ・障害者が育てた花で「花いっぱい運動」に取り組む。 ・空き家を活用することが多いグループホームでの個別性を考慮した防災学習、対策の充実。 | 130 |

| 番号 | 県民局 | 事業名 | 実施団体 | 実施月日 | | | | | 実施場所 | 事業形態と主な実施内容 | 参加者数 (人/部) |
|----|-----|-----------------------------------------------|-------------------------|------|----|---|---|----|-------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------|
| | | | | 月 | 日 | ～ | 月 | 日 | | | |
| 45 | 神戸 | 1.17と3.11に架ける交流の橋「市民ダイアログ2013in長田」 | 特定非営利活動法人エフエムわいわい | 11 | 1 | ～ | 3 | 30 | 神戸市立地域人材支援センター | ・“まちづくり”について2つの大震災被災地市民が互いの経験を分かち合い繋がりを深めるなど、神戸長田のコミュニティFM放送局によるトークイベントを開催。 ・大震災からの復旧・復興の中で地域社会が直面した解決困難な問題を共有し、国内外に発信。 | 215 |
| 46 | 神戸 | 多言語災害情報ラジオ番組制作と放送 ～防災情報をあなたのことばでお届けします～ | 特定非営利活動法人 多言語センター FACIL | 1 | 1 | ～ | 3 | 31 | 多言語センター FACIL、エフエムわいわい、東北3県の臨時災害FM局 | ・東日本、阪神淡路の大震災で被災した在日外国人と支援活動を行った方々がその経験を通じて感じた必要な情報や番組についてヒアリングを行った。 ・ヒアリング内容を5カ国語に翻訳し、多言語災害情報ラジオ番組を制作・放送し、在日外国人が得難い防災関連情報を伝えシェア。 ・在日外国人に正確な情報を伝えるがけでなく、日本人にも支え合いの心を共有できた。 | 150 |
| 47 | 神戸 | DamageControlの術と技で被災対応力の向上 | ひょうご契約奉仕会 | 11 | 19 | ～ | 3 | 31 | 県立三木山森林公園 | ・セミナー「Crisis ControlとDamage Control」 ・辻説法「被災場の応急、ダメコン」 ・訓練「Damage Control術と技 入門」 ・炊き出し訓練 ・セミナー「がれきはDamage Controlの資材庫」 ・被災直後の住民の自助、共助力の向上。 | 353 |
| 48 | 神戸 | ラジオで発信ひょうご安全の日のつどい | 震災教訓発信ラジオ実行委員会 | 1 | 13 | ～ | 1 | 17 | ひょうご安全のつどい会場・メモリアルウォークコース | ・メモリアルウォーク東コースからの随時生中継を実施。ラジオパーソナリティが、震災当時を振り返りながら、リスナーと防災について考える機会となった。 ・安全の日のつどい会場限定ミニFM放送を開局。来場者(避難者等)へのインタビューや式典の様子を中継、ラジオ関西の番組とつなぎ、広く近畿エリアに発信。 ・平日日中という時間帯であり、カーラジオ等で視聴する多くのリスナーが、防災・減災を考える機会となった。 | ラジオ放送 |
| 49 | 神戸 | 阪神・淡路大震災18年 東日本震災3年 メモリアル「一行詩」と「絵画」「書・華道」展“夢” | 日本機関紙協会兵庫県本部 | 1 | 12 | ～ | 1 | 14 | ギャラリー「Sea Space」 | ・被災者と一般市民から募集した「一行詩」(テーマは夢)と、絵画・書・華道を展示。 ・震災の風化を防ぐため、阪神・淡路大震災時の被害状況を示す写真パネル展示を実施。 ・夢(希望)を持つことで、生きる勇気が湧くことを震災で学んだ。防災意識を高め、生きる希望を育むことができた。 | 215 |
| 50 | 神戸 | 災害メモリアルKOBEBE2013 | 災害メモリアルKOBEBE実行委員会 | 1 | 12 | ～ | 1 | 12 | 人と防災未来センター | ・阪神・大震災と東日本大震災という二つの災害を踏まえて、人のつながりやコミュニティのつながりの大切さを語り合うイベントを実施。 ・イベントに先駆け、震災での体験とその後についての特別事業を小中学校で実施。 ・これまでの取り組みを振り返り、今後発生するであろう震災への備え等について議論。 ・次世代の育成、世代間交流による語り継ぎ、地域間交流により、市民の防災力を高めた。 | 250 |

| 番号 | 県民局 | 事業名 | 実施団体 | 実施月日 | | | | | 実施場所 | 事業形態と主な実施内容 | 参加者数 (人/部) |
|----|-----|-----------------------------------------------------|-------------------------------------|------|----|---|---|----|--------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------|
| | | | | 月 | 日 | ～ | 月 | 日 | | | |
| 51 | 神戸 | 震災とアスベスト - 1.17から3.11へ | (特非)ひょうご労働安全衛生センター・立命館アスベスト研究プロジェクト | 1 | 12 | ～ | 1 | 12 | 神戸市勤労会館・三宮センタープラザ前 | ・シンポジウム「阪神・淡路大震災におけるアスベスト飛散実態の検証」 「1.17の教訓から3.11被災地へ、そして全国へ」「マスクプロジェクトからの提案」 ・マスクプロジェクト(1/17)として、正しいマスク装着のための路上講習会とリーフレットを配布 ・東日本大震災被災地の被害情報検証(被災地医師とのインターネットを利用した意見交換) ・アスベスト問題が表面化する今、阪神・淡路大震災における取り組み等を東日本に伝え、対策の重要性を啓発。 | 240 |
| 52 | 神戸 | 1000人の歌声を響かせる 1.17震災祈念コンサート～神戸～東日本ともに歌う～ | 阪神・淡路大震災メモリアルコンサート実行委員会 | 1 | 13 | ～ | 1 | 17 | 兵庫県立文化体育館 | ・観客とともに歌い、震災を祈念するとともに、東日本復興の思いを込めて歌うコンサートとなった。 ・南三陸町と中継を結び、現地の様子を知るとともに、共に歌うことで復興を支えていく気持ちを改めて感じた。 ・かつての被災地神戸から東日本へ復興を祈念する気持ちを伝えることができた。 | 1,600 |
| 53 | 神戸 | 阪神・淡路大震災18周年メモリアル大うたう会 | 神戸市役所センター合唱団 | 1 | 13 | ～ | 1 | 13 | こうべ輪太鼓センター会館 | ・大きな声で歌うエネルギーや太鼓の響きは元気の源であるという思いの下、震災で亡くなられた方々への鎮魂と今生きている者の再生への想いを重ねながら「幸せ運べるように」合唱ほか、和太鼓演奏を行う。 ・癒しの音楽(マリンバ演奏)を加える。 ・阪神淡路大震災鎮魂組曲、合唱、マリンバ演奏を通して神戸の復興と元気を共感しあうと共に、犠牲者の鎮魂を願う。 | 128 |
| 54 | 神戸 | 東日本大震災被災地と結ぶ阪神・淡路大震災18周年メモリアル | 阪神・淡路大震災救援・復興兵庫県民会議 | 1 | 17 | ～ | 1 | 17 | 神戸市勤労会館大ホール | ・東日本大震災被災地の方に、講演を依頼し、1年10ヶ月後の被災地の現状を聞くことで、認識を深め、交流・連帯の強化を図ることができた。 ・阪神・淡路大震災の18年後の現状報告と、自然災害被災地の復旧・復興のあり方を検討。 ・被災地の現状と課題の報告を聞くことで、教訓とし、相互交流を強化するとともに、公的支援のあり方を検討した。 | 250 |
| 55 | 神戸 | 阪神・淡路18周年記念・東日本大震災復興応援チャリティーコンサート～共に生き、支えあい、繋がる命の絆～ | (特非)国際教育文化交流協会 | 1 | 15 | ～ | 1 | 17 | 神戸朝日ホール | ・東日本大震災の兵庫県内避難者を招き、「共に生き、支えあい、繋がる命の絆」をテーマにコンサートを開催。 ・被災地での支援を行った留学生による演奏等により、阪神・淡路大震災の経験と教訓を礎に、ともに力を合わせる事の大切さを伝える。 ・阪神・淡路大震災18周年記念と東日本被災地復興応援を兼ね、被災者・県民・留学生が一緒に鎮魂と応援復興に寄与した。 | 524 |
| 56 | 神戸 | 第18回日本集団災害医学会学術集会 『1.17から3.11～何を学びどう備えるか～』 | (一社)日本集団災害医学会 | 1 | 17 | ～ | 1 | 19 | 神戸国際会議場 | ・特別講演(ひょうご震災記念21世紀研究機構) ・シンポジウム(巨大広域災害への備え、被災地における災害医療支援の調整等) ・パネルディスカッション(1.17から3.11) ・市民公開講座、展示(ドクターカー、地震体験車等) ・大規模災害から何を学びどう備えるか、広く市民と検証し、発信する機会とできた。 | 3,500 |

| 番号 | 県民局 | 事業名 | 実施団体 | 実施月日 | | | | | 実施場所 | 事業形態と主な実施内容 | 参加者数 (人/部) |
|----|-----|-----------------------------------|-------------------------|------|----|---|---|----|-------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------|
| | | | | 月 | 日 | ～ | 月 | 日 | | | |
| 57 | 神戸 | 第9回追悼コンサートいのりのとき～南相馬の合唱団を迎えて～ | 追悼コンサートいのりのとき実行委員会 | 1 | 17 | ～ | 1 | 17 | 神戸新聞 松方ホール | ・神戸市民で構成した合唱団が、音楽を通して追悼と震災の記憶を伝えて行った。 ・福島在住の詩人、和合亮一氏が震災後に書き下ろした合唱曲を南相馬の合唱団有志を交えて初演。 ・南相馬から25名を招き、被災者どうしの交流から、防災意識の向上を図った。 ・音楽による追悼と、震災の記憶を風化させず、次世代への継承できた。 | 762 |
| 58 | 神戸 | 1.17朗読でつなく 明日への記憶 | 復興支援コンサート実行委員会 | 1 | 17 | ～ | 1 | 17 | 人と防災未来センター | ・震災への想いを綴った詩を、その作者や市民の朗読を通して、記憶や経験を語り継ぐ重要性を発信。 ・1.17で得た経験を継承、全国に発信し、防災意識を向上させた。 ・全国から詩の作者の参加があり、震災体験の風化を阻止することができた。 | 200 |
| 59 | 神戸 | 1.17神戸震災復興ライブ | 西神戸センター街親交会 | 1 | 17 | ～ | 1 | 17 | 西神戸センター街 | ・「震災を忘れない」という思いをアーティストの歌唱にのせて東日本大震災被災地へ届た。 ・復興ライブにより「命の大切さ」とともに、「震災を忘れない」ことを訴えた。 | 300 |
| 60 | 神戸 | 兵庫県理容組合防災シンポジウム | 兵庫県理容生活衛生同業組合 | 1 | 21 | ～ | 1 | 21 | ホテル北野ブラザ六甲荘 | ・阪神・淡路大震災では、多数の組合員が被災し、甚大な被害があった。その経験を踏まえ、災害時の迅速な防災対策の研修会を開催。 ・東北三県の理容組合へ、神戸の震災体験を伝えるなど、今できる最大の支援策を検討。 ・地域密着型営業の理容店として、災害時の防災力向上を行った。 | 100 |
| 61 | 神戸 | 第94回市民フォーラム「予想される巨大地震に備えて」 | 特定非営利活動法人「人・家・街 安全支援機構」 | 1 | 21 | ～ | 1 | 21 | 神戸国際会議場 | ・阪神・淡路大震災を教訓に、予想される巨大地震に備え、あるような被害が二度と起こらないように、木造住宅の耐震化について、基調講演及びパネルディスカッションを実施。 ・命の大切さ、木造住宅の耐震化、津波避難など、今何をなすべきかについて、市民に理解して頂けた。 | 234 |
| 62 | 神戸 | 第13回比較防災学ワークショップ～みんなで防災の知恵を共有しよう～ | 比較防災学ワークショップ実行委員会 | 1 | 21 | ～ | 1 | 22 | 神戸国際会議場 | ・「国難と都市災害：来るべき国難にどのように備えるべきか」をテーマに開催。 ・講演「何をめざすか」、発表「研究の最前線をさぐる」、パネルディスカッション等の開催 ・地域によって異なる様相を示す災害について、様々な角度から比較・検討。 ・専門的研究成果を、広く共有・発信し、来るべき南海トラフ地震対策を考える重要な知見とする | 212 |
| 63 | 神戸 | 第6回災害対策セミナーin神戸 | 財団法人神戸国際観光コンベンション協会 | 1 | 21 | ～ | 1 | 22 | 神戸国際会議場 | ・地域防災シンポジウム(河田恵昭教授講演会、防災功労者表彰等) ・各団体主催シンポジウム・セミナーを同時開催 ・防災関係者や一般市民が減災について共に学び、議論することで、地域の減災力の向上と減災対策の推進に資することができた。 | 1,493 |

| 番号 | 県民局 | 事業名 | 実施団体 | 実施月日 | | | | | 実施場所 | 事業形態と主な実施内容 | 参加者数 (人/部) |
|----|-----|------------------------------------------------------------------------|---------------------------|------|----|---|---|----|------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------|
| | | | | 月 | 日 | ～ | 月 | 日 | | | |
| 64 | 神戸 | 国際復興フォーラム2013～都市の力強い復興～防災を取り入れた復興・開発計画づくり-東北と世界の経験を2015年以降の国際防災枠組に生かす- | 国際防災復興協力セミナー実行委員会 | 1 | 22 | ～ | 1 | 22 | 神戸ポートピアホテル | ・都市の自然災害リスクが高まっている。住民にとって身近な地方自治体が防災に果たす役割に注目。 ・巨大災害からの復興における教訓活用の検討や今後の課題を検証。 ・2015年以降のポスト兵庫行動枠組について検討。 ・各都市の復興に係る知見と経験を共有し、国内外に発信。 | 184 |
| 65 | 神戸 | 第8回競基弘賞授賞式及び記念講演会 | 特定非営利活動法人国際レスキューシステム研究機構 | 1 | 22 | ～ | 1 | 22 | 神戸国際会議場 | ・阪神・淡路大震災で亡くなった神戸大大学院生にちなんで設立された「競基弘賞」の授与式及び記念講演会の開催。 ・大震災が端緒となったレスキューロボットの最先端の研究内容や取り組みの成果を発表し、安全安心のまちづくりに寄与することができた。 | 80 |
| 66 | 神戸 | 災害支援ナース養成研修会 基礎編 | 公益社団法人兵庫県看護協会 | 1 | 25 | ～ | 1 | 27 | 兵庫県看護協会会館 | ・県内外を問わず、災害発生時に要請のあった場所で看護職として被災医療機関等の支援を行える人材ならびに平時から地域で防災・減災教育に貢献できる人材の育成。 ・東日本大震災の支援活動を基に新たに作成したマニュアルを活用。 ・災害支援ナースを養成することで、地域の防災訓練等への貢献や、地域における防災・減災に関する貢献。 | 55 |
| 67 | 神戸 | 1.17リフレイン～あの想いを伝える～歌劇ビジュア公演「ドリームズ・ポット」 | ネザーランズ・センター | 1 | 25 | ～ | 1 | 26 | ライブハウス神戸ウィンターランド | ・震災で恋人を失った姉と震災を知らない妹を主人公に、観客には安らぎ又は悲しみの追体験ができるミュージカルを上演。 ・公演に先立ち、防災特別推進員による防災講座と人と防災未来センター貸出のDVD上映を行った。 ・震災を知らない世代にミュージカルを通して教訓の発信、防災・減災への関心をもつことを促すことができた。 | 220 |
| 68 | 神戸 | 室内合奏団THE STRINGS 1.17阪神淡路大震災3.11東日本大震災遺児支援教育復興チャリティーコンサート(第5回) | NPO法人 室内合奏団THE STRINGS | 1 | 26 | ～ | 1 | 26 | カトリック夙川教会 | ・音楽を通して2つの大震災の犠牲者を偲び、震災で得た教訓を今後予想される東南海・南海地震対策に活かして備えることができた。 ・NHKの復興支援ソング「花は咲く」ほかを参加者全員で歌った。 ・会場での募金をあしなが育英会を通じて震災遺児のために寄付。 | 76 |
| 69 | 神戸 | CODE10周年記念シンポジウムおよび報告書作成「寄り添いからつながりへ～市民による世界の被災地復興の支援～」 | 特定非営利活動法人CODE海外災害援助市民センター | 2 | 2 | ～ | 3 | 25 | 兵庫県公館 | ・阪神・淡路大震災で得た経験と知見を活かして海外の被災地支援を行ってきた実施団体の活動を振り返り、今後の防災・減災対策や被災地支援につながる知恵を共有。 ・災害から得た教訓を共有することで、被災地支援活動に対する関心を高めた。 | 130 |
| 70 | 神戸 | 災害と障害者支援～障害者・高齢者のための支援体制づくりの課題～ | 特定非営利活動法人兵庫障害者センター | 2 | 2 | ～ | 2 | 2 | 神戸市勤労会館 | ・大規模災害発生時には、支援する人もされる人も被災者。 ・障害者・高齢者の支援には、地域の力が大切であり、要援護者名簿をどう役立てるか協議した。 ・名簿の開示には、要援護者側の地域に知られたくないという人もあり課題が残った。 ・自治体アンケートを実施、福祉避難所の設置についての認識が広がっている。 | 80 |

| 番号 | 県民局 | 事業名 | 実施団体 | 実施月日 | | | | | 実施場所 | 事業形態と主な実施内容 | 参加者数 (人/部) |
|----|-----|----------------------------------------------------------------------|----------------------------|------|----|---|---|----|---------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------|
| | | | | 月 | 日 | ～ | 月 | 日 | | | |
| 71 | 神戸 | 災害時の船舶活用による医療的支援(訓練と意見交換会) | 兵庫県難病団体連絡協議会 | 3 | 3 | ～ | 3 | 3 | フェリーさんふらわあ | ・災害時の避難場所として船舶を活用することを念頭に置き、乗船及び船内環境を体験。 ・それを踏まえ、今後の取り組みについての意見交換会を船上で実施。 ・船を使った患者搬送訓練を合わせて実施。 ・避難所環境の改善が災害関連死の軽減に繋がる。海路の活用が災害時の対応力拡大に繋がる。 | 128 |
| 72 | 神戸 | 国際シンポジウム「2011年タイ大洪水から学ぶ長期湛水被害と事業継続への備え」 | 2011年タイ大洪水に学ぶ国際シンポジウム実行委員会 | 2 | 8 | ～ | 2 | 9 | JICA関西、人と防災未来センターほか | ・阪神・淡路大震災の被災自治体の危機管理や防災福祉コミュニティによる災害への備えについて研修を実施。 ・タマサット大学と人と防災未来センター等の研修者らによる研究交流会を行い、両国の減災や危機管理を改善する方策を討議。 ・タイの大洪水や我が国の2つの大震災で得た教訓を学びあい、互いの防災・減災につなげることができた。 | 70 |
| 73 | 神戸 | 第4回防災・社会貢献ディベート大会 | 防災・社会貢献ディベート大会実行委員会 | 2 | 8 | ～ | 2 | 16 | 神戸学院大学ポートアイランドキャンパス | ・「高校」「大学・一般の部」に分かれて防災・社会貢献に関する議題について討論。 ・「災害ボランティア」をテーマにパネル展を開催。 ・ディベートテーマは地域防災力向上のための消防団にスポットをあて「わが国は大学生の社会貢献活動にへの支援を拡充すべきである」とした。 ・東日本大震災後の課題や得られた経験等防災・社会貢献に関連する議題について参加者全員で議論し、将来へ備えることができた。 | 500 |
| 74 | 神戸 | ～1.17&3.11鎮魂と防災と希望の集い～アニソンフェスタ2013inKOBÉ六甲アイランド | アニソンで神戸を元気にする会 | 2 | 10 | ～ | 2 | 10 | アートカレッジ神戸六甲ジュリアホール | ・イベント会場での防災寸劇と避難訓練の実施 ・東北被災地のクリエイター作品の上映 ・アニメソングを歌い、勇気と希望を送った。 ・県内避難者を招待し、神戸の人の交流を深めた。 | 204 |
| 75 | 神戸 | 震災18周年メモリアル 太鼓衆団輪田鼓酒蔵公演 - 鎮魂と希望の太鼓 - 「和太鼓と尺八、民舞でつづる三年寝太郎ものがたり」 | 太鼓衆団輪田鼓 | 2 | 24 | ～ | 2 | 24 | 神戸酒心館ホール | ・地震や干ばつなどの天災から村人を救う「三年寝太郎」の物語を太鼓ドラマにし、民話から学ぶ教訓や智恵を伝えた。 ・震災で亡くなられた犠牲者の鎮魂を行うため、和太鼓等による大地震をテーマにした演奏を行った。 ・天災から村を救う民話の物語を太鼓ドラマにして上演。 ・伝統芸を用いて、神戸の復興と防災意識向上を目指し、鎮魂とともに残された者の心の再生を願う。 | 278 |
| 76 | 神戸 | 阪神淡路大震災1.17は忘れない KOSMA主催 第7回合唱フェスティバル | KOSMA | 3 | 3 | ～ | 3 | 3 | 新長田勤労市民センター別館ビブレホール | ・阪神・淡路大震災の経験を踏まえて、来場者とともに合唱による共感を深めた。 ・福島大学から音楽家・竹澤嘉明氏を招き、ワークショップを実施し、被災地との交流を図る。 ・福島の復興へ思いを込めて大合唱を行った。 ・震災を体験した者が、若者等に経験を継承し、福島県の現状を理解し、震災教訓を共有した。 | 384 |

| 番号 | 県民局 | 事業名 | 実施団体 | 実施月日 | | | | | 実施場所 | 事業形態と主な実施内容 | 参加者数 (人/部) |
|----|-----|----------------------------------|---------------------|------|----|---|---|----|----------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------|
| | | | | 月 | 日 | ～ | 月 | 日 | | | |
| 77 | 神戸 | 1000キロの心の架け橋 地域の絆を深めて防災力UP! | アジア子ども基金 | 3 | 9 | ～ | 3 | 10 | 淡路島、人と防災未来センター | ・東日本大震災発生から2年を迎えた東北からの県内避難者と神戸の住民を繋ぐプロジェクトを実施する。昨年の参加者も集い、交流を深めた。 ・避難している子ども達とともに、人と防災未来センターや淡路島を訪れ、防災学習を実施。 ・避難者と市民が交流することで、相談できる仲間づくりを行った。 | 139 |
| 78 | 神戸 | 「自分の命は自分で守る」こども防災体験学習 | 霞ヶ丘防災福祉コミュニティ | 3 | 10 | ～ | 3 | 10 | マリンピア神戸 | ・専門家のアドバイスを受けながら防災福祉コミュニティが力を合わせて、地域が主体となって子どもや親の若い世代が楽しみながら取り組む体験型の防災教育イベントを実施。 ・若い世代を地域コミュニティに巻き込んで防災イベントを実施し、地域活動の活性化を図った。 | 1,000 |
| 79 | 神戸 | 1.17を忘れない アスタスチールパンコンサート2013 | アスタ新長田スチールパン振興会 | 3 | 11 | ～ | 3 | 11 | 新長田勤労市民センター別館 ビブレホール | ・震災で傷ついた新長田に新しく根付いてきたスチールパン文化をアンサンブルコンサートを実施することによって、東日本大震災被災地への希望やこれまでの支援に対する感謝の気持ちを伝えることができた。 ・コンサートの後、東北へ赴き応援コンサートを実施し現地でメッセージを届けることができた。 ・震災後、復興途上の新長田地区を盛り上げたスチールパン文化を東北でも広くアピールできた。 | 300 |
| 80 | 神戸 | 第13回レスキューロボットコンテストボード講習会 | レスキューロボットコンテスト実行委員会 | 3 | 24 | ～ | 3 | 24 | 神戸市立青少年科学館 | ・第13回レスキューロボットコンテストに出場する予定の、将来エンジニアを目指す学生等に対して、レスキューロボットを設計開発するための基礎的・実践的技術習得するための講習会を開催。 ・レスキューロボットコンテスト出場を目指すチームを育成することで防災意識の高い技術者を育成する場となった。 | 78 |
| 81 | 阪神南 | ふれあい芦屋マダン2013 - 安心・安全・共生のまちづくり - | ふれあい芦屋マダン2013実行委員会 | 1 | 4 | ～ | 3 | 31 | 芦屋市立打出浜小学校体育館ほか | ・震災での教訓を踏まえた、地域の外国人、障害者、高齢者とのふれあい、交流を実施。 ・子ども達も参加して、地元に住む方の様々な国の文化とふれあい、増加している外国人住民の地域社会への参加を促すことができた。 ・東北震災パネル、防災グッズを展示。 ・外国人を含むあらゆる人たちが、日々の生活を安心して過ごせるように震災教訓を継承することにより、防災への意識づくりをすすめることができた。 | 2,000 |
| 82 | 阪神南 | 関西学院大学災害復興制度研究所 2013年復興・減災フォーラム | 関西学院大学災害復興制度研究所 | 1 | 12 | ～ | 1 | 13 | 関西学院大学、関西学院会館 | ・全国被災地交流集会の開催。テーマ「東日本大震災と広域避難」 ・震災関連死、震災遺児、原発避難などの専門家を招き、棄民のない社会づくりについて話合った。 ・東日本大震災支援全国ネットワークや福島の子どものたちを守る法律家ネットワーク等のグループも参加。 ・被災の体験・教訓の語り継ぎ、制度の建築や研究交流。復興リーダーのネットワーク作りを目指しており、既に顔の見える関係となっている。 | 220 |

| 番号 | 県民局 | 事業名 | 実施団体 | 実施月日 | | | | | 実施場所 | 事業形態と主な実施内容 | 参加者数 (人/部) |
|----|-----|------------------------------------------------------------|--------------------|------|----|---|---|----|-------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------|
| | | | | 月 | 日 | ～ | 月 | 日 | | | |
| 83 | 阪神南 | 震災復興祈念コンサート“笑顔でつながろう！みんなの心！” | The Pleasant Stage | 1 | 13 | ～ | 1 | 13 | 芦屋市保健駆使センター多目的ホール | ・災害に屈しない強い心と笑顔を信じ、絆を感じるのことができるコンサートを実施する。障害者施設からも参加あり。 ・11月に訪問した宮城県山元町でのコンサートの様子を現地からのビデオレターにし上映、東北被災地との一体感を深めることができた。 ・防災特別推進員による防災講習会を開催。 ・防災意識を高め、被災地との絆を再認識し、引き続き応援する心とパワーを再確認した。 | 280 |
| 84 | 阪神南 | 第4回防災士シンポジウム in HANSHIN | 特定非営利活動法人 兵庫県防災士会 | 2 | 3 | ～ | 2 | 3 | なるお文化ホール | ・巨大地震に備える地域防災力の向上と防災士の役割をテーマにしたシンポジウムを開催。 ・基調講演「大規模津波避難訓練と防災・減災」 西宮市副市長・危機管理監、パネルディスカッションの実施。 ・自治体の施策と地域の取り組みから、防災士の役割を探り、今後の連携方策等を検討した。 | 660 |
| 85 | 阪神南 | シンフォニー防災セミナー～過去の震災から学ぶVol.2～「生きのこる・生きのびる～参加型防災ワークショップのススメ」 | (特非)シンフォニー | 2 | 23 | ～ | 2 | 23 | 尼崎市労働福祉会館 中ホール | ・自主防災組織、地域団体の防災担当者及び阪神地域ひょうご防災リーダー講座修了性等を対象とし、「生きのこる」「生きのびる」をキーワードに、阪神・淡路大震災と東日本大震災それぞれをきっかけに生まれた一般市民が楽しみながら学べる防災訓練の実技ワークショップを実施し、地域防災力の強化を図った。 ・阪神地域の地域防災力及び防災ネットワークの強化促進を図り、講座受講生のさらなるスキルアップ及び防災プラットフォームの構築を目指す。 | 50 |
| 86 | 阪神南 | 3.11東日本大震災復興支援～第7回ジュニアプラストップ・チャリティーコンサート～ | (公社)日本吹奏楽指導者協会関西支部 | 3 | 10 | ～ | 3 | 10 | JR三宮駅地下阪神電車西改札前広場 | ・東日本大震災で大きな被害を受けた地域の復興を願って、3.11東日本大震災復興支援チャリティーコンサートを実施。 ・「しあわせ運べるように」の合同演奏 ・東日本大震災被災地の人達への応援メッセージを発信。 | 1,562 |
| 87 | 阪神南 | ひょうご安全の日推進事業「1・17を忘れない」講演＆コンサート | 1・17の会 | 3 | 25 | ～ | 3 | 25 | 西宮市プレラホール | ・住宅などの建物の耐震化の重要性をテーマとする一級建築士による講演の開催。 ・東日本大震災からの報告、被災者追悼の曲の歌唱を中心としたコンサートを開催。 ・ロビーにて震災パネル展示、フェニックス共済パンフレット等の配布。 ・住宅耐震改修を具体的に学び、防災・減災に取り組んだ。 ・震災報告をきき教訓となった。 ・コンサートにより震災の経験と哀しみを正面から受け止め、犠牲者への追悼とこれから生きていく力を培った。 | 116 |

| 番号 | 県民局 | 事業名 | 実施団体 | 実施月日 | | | | | 実施場所 | 事業形態と主な実施内容 | 参加者数 (人/部) |
|----|-----|--------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------|------|----|---|---|----|------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------|
| | | | | 月 | 日 | ～ | 月 | 日 | | | |
| 88 | 阪神南 | ひょうご安全の日推進事業 東日本大震災追悼コンサート 追悼の祈りと希望のコンサート | 公益財団法人アルカディア音楽芸術財団 | 3 | 17 | ～ | 3 | 17 | 芦屋市民センター ルナ・ホール | ・東日本大震災の県内被災者を招待し、追悼と癒しと活力を与える。曲目「アヴェ・マリア」(シューベルト)、「心に悲しみを抱きて」(オッフエルトリウム)ほか ・防災講演会の開催や、地域の視覚障害者を招待することで、地域社会の防災意識の高揚を図った。 ・ひょうご防災特別推進員による防災講演会を実施。 ・被災地域の追悼、癒しと、未来への活力を与えた。 | 422 |
| 89 | 阪神北 | 兵庫県南部地震(阪神・淡路大震災)犠牲者追悼のつどい あなたの思いを灯してください～ 失った命の数をロウソクの灯火に込めて～第18回開催テーマ「ゆらぎ～ Yuragi ゆるぎない思い～」 | ボランティア団体 ユウ・アイ・アソシエーション | 1 | 16 | ～ | 1 | 17 | 昆陽池公園南広場 | ・震災翌年の1996年から開催し、今年度で18回目となるローソクによる追悼事業。 ・毎年、テーマを設け、テーマに沿ったメッセージを抽象化した図柄をロウソクで描く。 ・全国のモデル的な事業となっており、全国に思いが広がられた。 ・阪神・淡路大震災の犠牲者への追悼とともに、全国各地への防災意識の向上につながられた。 | 3,000 |
| 90 | 北播磨 | 第14回ボランティアのつどい | ボランティアのつどい実行委員会 | 1 | 26 | ～ | 1 | 26 | 加西市健康福祉会館 | ・防災ボランティア推進講演会 ・ボランティア体験発表 ・救急法などの防災ミニ講座、体験コーナー(車椅子、応急手当、消火・煙体験、起震車等) ・炊き出し訓練の実施 ・防災やボランティアの体験を通して、市民全体にボランティアの輪を広げ、防災意識や共助意識の高揚が図られた。 | 672 |
| 91 | 丹波 | ひょうご安全の日推進事業「災害対応力を身につけよう!!」 | 日本赤十字社兵庫県支部 | 2 | 11 | ～ | 2 | 11 | 丹波市立スポーツ施設三ツ塚ふれあいセンター 愛育館 | ・避難所を想定し、ボランティアによるボランティアセンターの立ち上げ・運営、救護所等の開設訓練 ・炊き出し、仮設診療所設置、救援物資、搬送・配付、無線通信訓練 ・県民が参加し、体験できるコーナーの開設。健康相談、非常食試食、一時救命処置、きずの手当、災害時等に役立つ技術の取得等災害救援物資や活動紹介パネルの展示等。 ・ボランティアの災害発生時の対応能力の向上を図ることができた。 ・一般県民に一次救命処置等を体験してもらうことにより、対応力強化に繋がった。 | 450 |
| | | | | | | | | | | 合計(全県) | 208,375 |

| 番号 | 県民局 | 事業名 | 実施団体 | 実施月日 | | | | | 実施場所 | 事業形態と主な実施内容 | 参加者数 (人/部) |
|----|-----|----------------------------------|-------------------|------|----|---|----|----|------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------|
| | | | | 月 | 日 | ～ | 月 | 日 | | | |
| 92 | 神戸 | 震災体験記「しん」の発行・配布 | 放送大学東灘友の会 | 9 | 1 | ～ | 12 | 3 | 浜御影地域福祉センター、県民会館 | ・阪神・淡路大震災の記憶を文章にして残すことを目的に発刊している ・東日本大震災や風水害が多発する中、災害に備え、関心を持ち続けることを書き残すため、今回、第18号を発刊。 ・生きがい創造協会の高齢者放送大学地方スクーリングでも配布、震災、防災への関心を広めることができた。 | 400 |
| 93 | 神戸 | 1.17は忘れない河原地区防災フェスティバル | 河原防災福祉コミュニティ | 9 | 22 | ～ | 12 | 9 | 河原自治会館、都賀川公園ほか | ・河原自治会が設置した震災モニュメント慰霊碑前での追悼式の開催と、住民の防災訓練を兼ねた防災フェスティバルを開催し、地域コミュニティの結束を図った。 ・応急救護講習、放水訓練、煙ハウス体験、炊き出し、防災資材の確認などを実施した。 | 410 |
| 94 | 神戸 | 1.17の経験と教訓の継承・リメンバー神戸プロジェクト活動 | リメンバー神戸プロジェクト | 9 | 1 | ～ | 1 | 31 | ジュンク堂書店三宮店ギャラリー | ・震災18年、県内外の人々に震災の生き証人「神戸の壁」の保存の意図を伝えるため、保存活動の思い、歩みを描いた神戸の壁絵図の展示によって、防災・減災について発信した。 ・神戸の壁モニュメントガイドを配布、耐震診断関係など防災関係パンフを配布し、来場者の防災意識を高めた。 | 3,000 |
| 95 | 神戸 | アンサンブル神戸第13回特別演奏会～1.17鎮魂と語り継ぐ為に～ | アンサンブル・神戸 | 9 | 1 | ～ | 2 | 23 | 神戸新聞 松方ホール | ・一般公募による神戸21世紀混声合唱団とプロの音楽家で構成されるオーケストラが、J.S.バッハのクリスマスオラトリオを演奏。 ・東日本被災地で慰問演奏した報告などを配り、震災で学んだ連帯感やボランティアへの感謝を伝えた。 | 477 |
| 96 | 神戸 | 神戸市手をつなぐ育成会 ひょうご安全の日推進事業 | 一般社団法人神戸市手をつなぐ育成会 | 9 | 1 | ～ | 3 | 31 | 育成会会館ほか | ・月刊誌「いくせい」での防災特集 ・防災講演会「東南海・南海地震に備えて」の開催 ・緊急連絡等安否確認体制の整備 ・応急手当講習会 ・震災体験集による語り部活動の実施 | 129 |
| 97 | 神戸 | 被災者・市民・福祉・生活・法律・税金・健康無料相談活動 | ひょうご福祉ネットワーク | 9 | 1 | ～ | 3 | 31 | 神戸市内 | ・弁護士、看護師、ケースワーカー等による無料巡回相談、炊き出し配食活動を毎月1回実施 ・無料電話相談、来所相談を平日午前にも実施 | 600 |
| 98 | 神戸 | 防災の方法を学ぼう"カエルキャラバン2012" | 神戸市民安全推進委員会 | 11 | 18 | ～ | 11 | 18 | 天王谷学園 | ・自衛消防訓練、消火訓練、応急手当 ・炊き出し料理体験 ・震災の経験を聞く防災学習の開催 ・実際に体験することで、防災への取り組みを確認する機会となった。 | 57 |
| 99 | 神戸 | 学生達の震災追悼茶会 | (特非)いちごいちえ | 10 | 1 | ～ | 3 | 9 | 有馬グランドホテル | ・阪神・淡路大震災と東北大震災の資料や防災に関する啓発資料やグッズを集め、仙台の仮設住宅での茶会経験などを踏まえ、参加者に紹介。 ・茶会の前に学生たちが、震災について何を伝えて行くべきかを学習した、追悼茶席を開催(3/9)。 | 170 |

| 番号 | 県民局 | 事業名 | 実施団体 | 実施月日 | | | | | 実施場所 | 事業形態と主な実施内容 | 参加者数 (人/部) |
|-----|-----|-------------------------------------|-----------------------|------|----|---|----|----|--------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------|
| | | | | 月 | 日 | ～ | 月 | 日 | | | |
| 100 | 神戸 | ファイア・アドベンチャー(小学生総合防災体験学習) | ファイア・アドベンチャー実行委員会 | 10 | 5 | ～ | 10 | 5 | 王子公園サブグラウンド | <ul style="list-style-type: none"> ・消防署の仕事を目撃して学習する。 ・地震津波学習、放水訓練、レスキュー体験、煙体験、起震車体験 ・全員での合唱「しあわせ運べるように」 ・震災の教訓を風化させることなく、若い世代に伝え、命の大切さや防災への備えの必要性について学習することができた。 | 1,050 |
| 101 | 神戸 | たるみっ子防災ひろば | 垂水元気なまちづくり実行委員会 | 10 | 14 | ～ | 10 | 14 | 垂水レバンテ広場 | <ul style="list-style-type: none"> ・ふれあいステージの開催 ・防災啓蒙劇・ダンス、東北支援歌合唱のほか、県民参加ステージなど、楽しみながら防災を考えることができた。 ・100円防災グッズの展示、市民救命隊によるAED講習、消防士ユニフォーム撮影など ・その他、東北支援ブース地元参加ブース(飲食店・企業等)、フェニックス共済PRなどを実施した。 | 1,000 |
| 102 | 神戸 | 災害に強いまちをつくるために...平成24年度竹の台地域防災教育・訓練 | 竹の台地区防災・防犯福祉コミュニティ | 10 | 21 | ～ | 1 | 17 | 竹の台地域福祉センター・西神中学校・竹の台小学校 | <ul style="list-style-type: none"> ・防災ゲームの実施、過去の震災から学ぶ ・地震、火災、水害等について学ぶ防災ワークショップ ・消防署や看護大の指導のもとで救急訓練を実施 ・自主防災組織が指導し、中学校・小学校・地域住民合同の防災訓練を開催 ・南海トラフ巨大地震に備え、地域の防災対策に寄与した。 | 4,500 |
| 103 | 神戸 | 東日本大震災第1～3次の支援活動報告会と防災パネル展示 | (特非)社会還元センター グループわ | 11 | 19 | ～ | 11 | 27 | 神戸市シルバークレッジ(しあわせの村) | <ul style="list-style-type: none"> ・東北被災地で取り組んできた支援活動の報告会と、パネル展示を実施。 ・宮城県女川町の復興センターから2名の講師を招き、現地の復興状況と支援活動への要望を聞きこも、今後の支援活動の参考となった。 ・女川町仮設住宅住環境改善のため、人と防災未来センターを見学、西区竹の台小学校の防災担当者を交え、今後の支援等を考えた。 | 300 |
| 104 | 神戸 | 2012KOBE イルミネーションバス運行 | KOBEイルミネーションバス運行実行委員会 | 12 | 5 | ～ | 12 | 17 | 福祉施設 | <ul style="list-style-type: none"> ・市バスにルミナリエを模した電飾を施し、市内の福祉施設等を訪問し、鎮魂と復興のシンボルである神戸ルミナリエの想いを伝えることができた。 ・施設利用者や職員の方に、震災への想いを再確認頂き、防災への意識を強くして頂いた。 | 2,000 |
| 105 | 阪神南 | 西大島地区防災訓練 | 西大島社会福祉連絡協議会 | 11 | 21 | ～ | 12 | 8 | 尼崎市立成文小学校 | <ul style="list-style-type: none"> ・津波を想定した緊急避難訓練、講話 ・消火実習、AED講習、車椅子避難訓練 ・火災報知器設置指導講習会 ・地域住民の防災力の向上を目的とし、災害時の心得、役割分担等を訓練参加者が考え、災害発生時の強靱な社会作りに寄与した。 | 471 |

| 番号 | 県民局 | 事業名 | 実施団体 | 実施月日 | | | | | 実施場所 | 事業形態と主な実施内容 | 参加者数 (人/部) |
|-----|-----|----------------------------------------------|-------------------|------|---|---|----|----|-------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------|
| | | | | 月 | 日 | ～ | 月 | 日 | | | |
| 106 | 阪神南 | 二つの大震災へ祈りを込めて～ 1.17は忘れない～ | アンサンブル・ピリカ | 9 | 1 | ～ | 1 | 5 | プレラホール | <ul style="list-style-type: none"> ・2つの震災を経験した親子作曲家(中西覚、なかにしあかね)の曲を歌うことで被災した人々への鎮魂と復興へのエールを送った。 ・東北で支援活動を続けている、なかにしあかね先生による東北の現状についての講演 ・参加者へのフェニックス共済加入促進を推奨するとともに防災啓発チラシを配付 ・人と防災未来センター見学や、ひょうご防災特別推進員によるミニ講座の実施 | 350 |
| 107 | 阪神南 | 阪神・淡路大震災復興18周年 新春邦楽コンサート(東日本震災遺児奨学金義援チャリティー) | 新春邦楽コンサート実行委員会 | 9 | 1 | ～ | 1 | 20 | 芦屋市ルナホール | <ul style="list-style-type: none"> ・芦屋三曲協会が中心となり追悼曲・邦楽曲を演奏するコンサートを開催(1/20) ・1.17宣言、防災啓発チラシを配布し、開会あいさつで事業趣旨、津波避難ビルの周知、住宅耐震化促進の案内などを説明し、防災の重要性を改めて認識頂いた。 ・震災遺児奨学金義援の募金活動を行った。 | 420 |
| 108 | 阪神南 | 道意地域におけるハザードマップづくりと避難訓練 | 道意社会福祉連絡協議会 | 9 | 1 | ～ | 3 | 31 | 道意プラザ・若葉小学校 ほか | <ul style="list-style-type: none"> ・ひょうご防災特別推進員の指導のもと、地元小学校と協力して防災マップの作成 ・11月5日津波の日における防災マップの検証 ・防災訓練のための予備知識講座開設 ・1.17を忘れない 防災訓練実施、メモリアルウォーク参加 ・図上訓練のためのセミナー実施 | 500 |
| 109 | 阪神南 | はらっぱ防災プロジェクト～記憶を伝え、未来に備える～ | (特非)はらっぱ | 9 | 1 | ～ | 3 | 31 | はらっぱ内 | <ul style="list-style-type: none"> ・震災祈念イベント「あの日を想って」の開催 ・ひょうご防災特別推進員による公開講座の実施 ・人と防災未来センター・仁川百合野町地すべり資料館などへの遠足 ・心肺蘇生講習会、避難訓練、CAP講座の開催 | 666 |
| 110 | 阪神南 | 家具転倒防止器具及び家庭用火災警報器取り付けの啓発事業等 | (公社)尼崎市シルバー人材センター | 10 | 1 | ～ | 12 | 31 | 尼崎市内各家庭 | <ul style="list-style-type: none"> ・家具転倒防止器具及び家庭用火災警報器取り付けに関するチラシ作成・配布による啓発を実施、高齢者家庭を中心に各世帯へ配布した。 ・当センターのシルバー会員の防災意識の向上や、事故防止の啓発に寄与することができた。 | 616 |
| 111 | 阪神南 | 地域の外国人住民との共生災害学習「暮らしの安心・安全2012」 | こくさいひろば芦屋 | 10 | 1 | ～ | 3 | 31 | 芦屋市立潮見小学校、芦屋浜管理センタービルほか | <ul style="list-style-type: none"> ・外国人による震災体験、母国の震災・救援活動等についての紹介、外国人の子どもたちからの発表。 ・応急救護講習、ひょうご防災特別推進員による講座や、人と防災未来センターへの見学 ・炊き出し、地域交流イベントの実施 ・地域表示(避難場所など)などの作成と地域の避難経路等を知るために子どもウォークラリーを実施 | 2,000 |

| 番号 | 県民局 | 事業名 | 実施団体 | 実施月日 | | | | | 実施場所 | 事業形態と主な実施内容 | 参加者数 (人/部) |
|-----|-----|-----------------------------------------|---------------------|------|----|---|----|----|------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------|
| | | | | 月 | 日 | ～ | 月 | 日 | | | |
| 112 | 阪神南 | 阪神淡路大震災の子供たちへの継承事業 | 社会福祉法人のぞみ会 | 10 | 1 | ～ | 3 | 31 | 浜風の家 | ・震災メモリアル行事の開催 ・避難、野外炊事、防火訓練の実施 ・追悼音楽会、人形劇の実施 ・人と防災未来センター見学 | 3,323 |
| 113 | 阪神南 | 台所の防災2012 | 芦屋韓国朝鮮料理教室 | 10 | 1 | ～ | 3 | 28 | 芦屋市民センター調理室ほか | ・応急措置(心肺蘇生等)、施設での津波避難 ・震災グッズ、震災情報の紹介 ・炊き出し、韓国などの保存食の作成や試食 ・人と防災未来センターなどの震災関連施設等の見学 | 144 |
| 114 | 阪神南 | 震災の経験を伝えよう 1.17追悼メモリアル 地域交流餅つき大会 | (特非)たまり場 | 12 | 23 | ～ | 3 | 3 | 県民交流広場、グループホーム西宮 | ・餅つきを通して、世代を超えた地域住民間の交流を深め、震災(東北の震災も含め)の風化を防ぎ、お互いが支え合い、助け合うことの大事さを再認識できた。 ・ホームのお年寄りとも交流できたことで、これからの防災防犯活動にも効果が期待できる。 | 400 |
| 115 | 阪神南 | ～1.17は忘れない～ひょうご安全の日推進事業 震災アニメ上映&歌謡コンサート | (特非)コンソレーション・ネットワーク | 12 | 24 | ～ | 12 | 24 | 西宮フレンテホール | ・子ども向けに、震災アニメ「地球が動いた日」の上映 ・東日本大震災で被災され、西宮市に避難されている被災者の方々に歌謡コンサートに無料招待 ・ぜんざいの炊き出しを実施。 | 200 |
| 116 | 阪神北 | 弥生が丘 減災意識啓発フェスティバル | 三田市弥生が丘自治会 | 10 | 27 | ～ | 11 | 17 | 弥生が丘小学校と校庭 | ・防災学習の実施 テーマ「地域防災の重要性」「災害要援護者及びその他の安否確認方法」 ・弥生小学校と合同で防災訓練 避難所訓練、初期消火・応急救護法、AED講習、炊き出しなど | 700 |
| 117 | 阪神北 | ～1.17は忘れない～「多田東地区防災ガイドブック」 | 多田東小学校区自主防災会 | 9 | 1 | ～ | 12 | 28 | 多田東会館内 | ・「防災ガイドブック」の全戸配布により、自身、家族、地域を守り、絆を高め、地域全体として防災意識を高めた。 ・地震対策「地震を知る」「地震に備える」「防災訓練参加呼びかけ」「応急手当」 ・風水害対策「気象情報への注意呼びかけ」 ・自助、共助「近隣の絆」「避難心得」「災害時要援護者」等 | 5,600 |
| 118 | 阪神北 | 緑台・陽明地区自主防災総合訓練 | 緑台・陽明地区自主防災会 | 10 | 1 | ～ | 11 | 12 | 川西市立緑台小学校 | ・自主防災組織マニュアルに基づく救出・救護・伝達・防災用具等の訓練 ・災害時要援護者に対する車椅子使用の避難・誘導訓練 ・炊き出し、備蓄用食糧の試食 ・幼稚園児、低学年児童を対象に火災に対する体験学習 等 | 470 |

| 番号 | 県民局 | 事業名 | 実施団体 | 実施月日 | | | | | 実施場所 | 事業形態と主な実施内容 | 参加者数 (人/部) |
|-----|-----|------------------------------|-------------------|------|----|---|----|----|---------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------|
| | | | | 月 | 日 | ～ | 月 | 日 | | | |
| 119 | 阪神北 | 防災は日頃の備えと地域のきずな | 大和の夢かなえたい実行委員会 | 10 | 1 | ～ | 1 | 31 | 平木谷公園及び能勢電畦野駅前ロータリー | ・震災記録・写真・ポスター等防災情報コーナーの設置 ・心肺蘇生法・止血・AED応急救護措置の講習 ・3世代ウォークラリー(避難経路確認) ・要援護者、障害者避難路の訓練 ・炊き出し、ライトアップ 等 | 15,000 |
| 120 | 阪神北 | 防災フェア～皆で守ろう わが街・いのち～ | 能勢口商業協同組合 | 12 | 16 | ～ | 12 | 16 | 三角広場 | ・救急講習(AED)、消火器操作訓練 ・消防車、JAF車の展示等 ・防災講話、震災パネル展示 ・炊き出し訓練、非常食配布 ・イルミネーション点灯、リズム体操、ライブなど | 600 |
| 121 | 東播磨 | 災害発生想定時給食施設間相互支援事業 | 加古川・高砂・加古郡給食施設協議会 | 9 | 10 | ～ | 3 | 21 | 社会福祉施設、病院 | ・「災害発生時における給食施設間の相互支援体制を強化する」をテーマに、昨年度作成した「緊急時相互支援マニュアル」の検証と体制の強化に向けた取り組みを行った。 ・ワーキング会議の開催 ・災害時相互支援訓練の実施 | 168 |
| 122 | 東播磨 | 加古川グリーンシティ防災まちづくり推進事業 | 加古川グリーンシティ防災会 | 9 | 1 | ～ | 3 | 31 | 加古川グリーンシティ 他 | ・災害図上訓練の実施 ・グリーンシティ応援手当普及員による市民救命士養成講座の実施 ・災害を想定した炊き出し訓練の実施 ・中高層住宅災害に特化した防災訓練実施及び安全対策の実施 他 | 1,600 |
| 123 | 東播磨 | 尾上地区防災・減災フェスティバルならびに避難訓練 | 養田まちづくり委員会 | 9 | 1 | ～ | 3 | 31 | 尾上町養田公会堂 他 | ・南海地震も想定し避難訓練と情報の伝達のルール化を重点的に事業実施。 ・避難場所の掲示板の設置と家具等の転倒防止策を推進。 ・防災施設の見学ならびに防災活動先進地との交流研修会をもち減災に努めた。 他 | 445 |
| 124 | 東播磨 | 給食施設における緊急時相互支援ネットワーク | 明石給食施設協議会 | 9 | 1 | ～ | 2 | 28 | 明石健康福祉事務所他 | ・災害を想定した訓練(連絡訓練、食事提供のシミュレーション) ・ワーキング会議(4回:助成対象期間中) | 120 |
| 125 | 東播磨 | 「高砂市総合防災訓練」及び「1.17は忘れない高砂集会」 | 防災リーダーたかさこ | 10 | 1 | ～ | 3 | 20 | 高砂市立阿弥陀小学校ほか | ・講演「阪神・淡路大震災と東日本大震災に学ぶ」 ・我が家の安全チェックポイント(家具転倒防止等) ・救急・救命の実演と実施 ・阪神・淡路大震災と東日本大震災パネル展 ・台風水害時の地域対応についての学習 | 325 |

| 番号 | 県民局 | 事業名 | 実施団体 | 実施月日 | | | | | 実施場所 | 事業形態と主な実施内容 | 参加者数 (人/部) |
|-----|-----|--------------------------|-----------------|------|----|---|----|----|-----------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------|
| | | | | 月 | 日 | ～ | 月 | 日 | | | |
| 126 | 北播磨 | 西田町自主防災訓練 | 西田町自主防災会 | 9 | 16 | ～ | 9 | 16 | 西田町子ども広場 | ・避難訓練(町内各班) ・初期消火訓練(消防署指導にて実施) ・応急処置、心肺蘇生訓練(AED講習) ・土のう積み訓練 ・炊き出し訓練など | 80 |
| 127 | 中播磨 | 英賀保小学校140周年運動会 防災訓練・防災啓発 | 英賀保地区連合自治会 | 9 | 29 | ～ | 9 | 29 | 姫路市立英賀保小学校 | ・記念行事を行う運動会の機会に、防災・減災地域を普及させるため、防災訓練(避難訓練、傷病者搬送訓練)を実施 ・消防署による防火対策の啓発を同時に実施 ・防災訓練・防災啓発により、学校と地域が一体となって、安心して暮らせる町づくりを進めた。 | 165 |
| 128 | 中播磨 | 飾磨区 中島自治会防災訓練 | 中島自治会自主防災会 | 2 | 24 | ～ | 2 | 24 | 中島自治会館、中島児童公園 | ・防災マップづくり ・防災訓練の実施 防災マップを活用した避難訓練、初期消火訓練、応急処置講習会、炊き出し訓練 ・住宅の耐震化の啓発 | 230 |
| 129 | 中播磨 | 上原田地区自主防災訓練 | 上原田自主防災会 | 10 | 21 | ～ | 10 | 21 | 上原田スポーツ公園 | ・防災訓練の実施 避難誘導訓練、消火栓放水訓練、消火器による消火訓練、消防車放水訓練、被災者の救護訓練、炊き出し訓練、防火機器の点検、交通規制訓練 | 415 |
| 130 | 中播磨 | 自主防災かみかわ防災訓練 | 自主防災かみかわ | 11 | 11 | ～ | 11 | 11 | 神河町立大山小学校 | ・地震発生及び大雨を想定し、各種防災訓練を実施。避難誘導訓練、消火訓練、アマ無線を利用した情報収集伝達訓練、安否確認訓練、救護訓練など、緊急時取るべき行動の確認と防災意識の高揚が図れた。 | 753 |
| 131 | 但馬 | 奥米地区災害避難訓練 | 奥米地区 | 9 | 2 | ～ | 9 | 2 | ほたるの館 | ・災害避難訓練、社協との連携による要援護者救出訓練 ・初期消火活動訓練 ・炊き出し訓練、備蓄食糧の試食など | 157 |
| 132 | 淡路 | 福良地区防災フェスタ | 福良地区防災フェスタ実行委員会 | 9 | 9 | ～ | 9 | 9 | 福良港津波防災ステーション周辺 | ・津波防災ステーションでの防災学習 ・県立淡路高校生による震災紙芝居 ・防災グッズの展示・防災クイズ ・避難路確認の路地裏探訪 ・非常食の試食、炊き出し訓練など ・地域住民のほか、観光客にも津波防災ステーションの機能を広くPRできた。 | 500 |

| 番号 | 県民局 | 事業名 | 実施団体 | 実施月日 | | | | | 実施場所 | 事業形態と主な実施内容 | 参加者数 (人/部) |
|-----|-----|------------------------------|--------------------|------|----|---|----|----|-----------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------|
| | | | | 月 | 日 | ～ | 月 | 日 | | | |
| 133 | 淡路 | 復興支援に学ぶ減災フォーラム | NPO復興支援ネットワーク淡路島 | 9 | 15 | ～ | 9 | 15 | 洲本市立文化体育館 | ・復興支援ネットワークの支援活動報告会を開催 ・東大地震研究所・元準教授による講演 | 50 |
| 134 | 淡路 | 「防災・減災の日」啓発活動 | 洲本市建設業協同組合 | 10 | 15 | ～ | 10 | 22 | 洲本市内、洲本市立文化体育館 | ・10月20日を「防災・減災の日」と位置づけ、平成19年度より啓発活動を実施。市内要所に防災・減災を呼びかける横断幕やのぼりを設置した。 ・東日本大震災被災地(南三陸町)から講師を招き、今後の活動のあり方を考えるとともに、一人一人の防災意識の向上が図られた。 | 42 |
| 135 | 神戸 | 防災かまどベンチプロジェクト | 神戸市立東灘小学校PTA | 7 | 21 | ～ | 9 | 2 | 神戸市立東灘小学校 | ・地域の避難場所に指定されている小学校で、防災かまどベンチの製作・設置(2基)を行った。 ・かまど開きでは、小学生と保護者、地域の高校生が協力して、炊き出し訓練を実施した。 ・子どもたちの防災意識を高め、今後の災害に備えることができた。 | 100 |
| 136 | 東播磨 | 高砂“絆”ハザード模型製作プロジェクト | 高砂市高校生模型製作委員会 | 9 | 1 | ～ | 1 | 31 | 高砂南高校、高砂高校、松陽高校 | ・今後予想される台風や集中豪雨を想定し、ハザード模型の製作、浸水予想マップを作成。 ・地域住民・生徒とともに、地域に根ざしたきめ細かい防災避難の学習を推進し、避難経路の再検討を実施した。 | 150 |
| 137 | 神戸 | 震災体験を語り継ごう・玉津のもちつき炊き出し鎮魂のつどい | 特定非営利活動法人神戸環境教育研究所 | 1 | 5 | ～ | 2 | 2 | 玉津第一小学校・長畑地区内公園 | ・玉津地域の住民が共同作業により、炊き出しやもちつきを実施、震災犠牲者に黙祷。 ・地域住民が助け合うことの重要性を再確認し、震災体験を後世に伝えていく場とした。 ・自治会組織と協力し、住宅耐震化について啓発を実施。 ・地域での助け合いを再認識し、震災経験を後世に伝え、今後の備えを図ることができた。 | 1,870 |
| 138 | 神戸 | つどい1.17 | 神戸・市民交流会 | 1 | 17 | ～ | 1 | 17 | 東遊園地 | ・竹灯籠で1.17の文字を描き、参加者が火を灯し、5:46と17:46に黙祷する。竹は、県内の社会福祉協議会等の協力を得て集荷。 ・17日の早朝に炊き出し(1,000人分)を実施。 ・阪神・淡路大震災及び東日本大震災の犠牲者を追悼し、震災の経験を語り継いだ。 | 43,000 |
| 139 | 神戸 | 「防災かまどベンチ」フェスティバル | 神戸市立本山第二小学校PTA | 2 | 3 | ～ | 2 | 3 | 神戸市立本山第二小学校 | ・防災かまどベンチを利用した炊き出し訓練の実施。 ・防災福祉コミュニティによる防災訓練。 ・在庫していた備蓄用食料品を、訓練参加者に配付。 ・災害時にはかまどになるベンチを利用した訓練を行い、災害に備える心を養うことができた。 | 350 |

| 番号 | 県民局 | 事業名 | 実施団体 | 実施月日 | | | | | 実施場所 | 事業形態と主な実施内容 | 参加者数 (人/部) |
|-----|-----|--------------------------------------------|-------------------------|------|----|---|---|----|-------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------|
| | | | | 月 | 日 | ～ | 月 | 日 | | | |
| 140 | 神戸 | 忘れない地域の絆と防災・減災 | (特)東灘地域助け合いネットワーク | 1 | 26 | ～ | 2 | 2 | (特)東灘地域助け合いネットワーク | ・地域の自治会と連携して餅つき大会を実施 ・AED使用方法、児童に防災頭巾の作り方を習得させる ・炊き出しの実施、災害用備蓄食料の試食 ・1.17や3.11の写真展や映像の放映 ・地域における世代間交流を図り、児童には防災・減災を身近なものとして認識させ、考えるきっかけをつくりになった。 | 200 |
| 141 | 神戸 | 星和台・鳴子とんどまつり と 安全・安心のつどい | 星和台鳴子防災福祉コミュニティ | 1 | 12 | ～ | 1 | 12 | 神戸市立星和台小学校 | ・とんどまつりと防災訓練を併催、安心・安全のつどいとして、煙避難訓練、消火器取扱訓練、担架搬送訓練等を実施。 ・近隣の大学生ボランティアや防災士と協働し実施する。給水車による訓練を実施。 ・地域の交流の場において、防災事業を一緒に体感し、安全・安心についての理解を深めることができた。 | 600 |
| 142 | 神戸 | 絆プロジェクト～大震災の教訓の継承～ | NPO法人 神戸ベイビーカーフェ | 1 | 12 | ～ | 1 | 12 | 灘区区民ホール | ・東日本や神戸で被災された方々の取材内容をハンドブックに編集、語り継ぐための展示 ・東日本でのボランティア活動についてのシンポジウム、追悼音楽会の開催 ・人と防災未来センターへの見学会の実施 ・ハンドブックの作成やシンポジウムの開催を通じて、大震災から得た教訓を次世代へ継承。 | 150 |
| 143 | 神戸 | 未来に託す地域の子もたちへ伝える大人の防災教育の大切さ(大原・桂木地区防災訓練実施) | (特非)大原・桂木OKサポート | 11 | 25 | ～ | 1 | 13 | 桂木小学校、大原山公園 | ・小中学生を交えた住民の防災訓練を通して、安全で安心できるまちづくりを目指す。消火訓練、炊き出し訓練等を実施。 ・地域のとんど祭りを通して、災害時の共助の大切さを培うとともに、地域の安全・減災を祈念する。 ・防災特別推進員による要援護者避難訓練の指導。 ・日頃のコミュニケーションや街の情報の共有化の大切さを学び次世代へ教訓を伝承し、減災を伝えることができた。 | 500 |
| 144 | 神戸 | 1.17を忘れない 鎮魂のつどいと3.11相互交流事業 | (特非)サポートステーション灘・つどいの家 | 1 | 15 | ～ | 1 | 31 | サポートステーション灘・つどいの家 | ・講話「1.17と3.11震災体験者を交えて」防災について語り継ぐ。 ・犠牲者追悼セレモニーの実施 ・炊き出しの実施とメモリアルウォークへの参加 ・震災の追体験を行うことにより、風化しがちな防災・減災を次世代に語り継ぐ。 | 150 |
| 145 | 神戸 | 災害に備えて！防災啓発・炊き出し訓練活動 | 一般社団法人兵庫県宅地建物取引業協会神戸東支部 | 1 | 17 | ～ | 1 | 17 | HAT神戸なぎさ公園 | ・災害を想定した集団炊き出し・配膳訓練を実施。 ・メモリアルウォーク等参加者へぜんざい等(1500食)を提供するとともに、防災啓発小冊子等を配布し、防災啓発活動を行った。 ・参加者が住居等室内安全対策等を学習し、会場での啓発活動を行った。 ・地域住民と関連深い団体として、炊き出し等非常時訓練を実施し、コミュニティの重要性を認識した。 | 1,500 |

| 番号 | 県民局 | 事業名 | 実施団体 | 実施月日 | | | | | 実施場所 | 事業形態と主な実施内容 | 参加者数 (人/部) |
|-----|-----|------------------------------------------|----------------------------|------|----|---|---|----|------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------|
| | | | | 月 | 日 | ～ | 月 | 日 | | | |
| 146 | 神戸 | 1.17KOBEに灯りをinながた | 1.17KOBEに灯りをinながた実行委員会 | 1 | 17 | ～ | 1 | 17 | 新長田駅前広場 | ・「1.17ながた」の形のろうそくへの点灯、鎮魂ライブ、ろうそくづくりワークショップ、アンテナショップなどを通して、被災地との交流・支援を図ることができた。 ・東日本大震災被災者との交流、現地特産品などの紹介を通じて東日本を支援。 ・「灯り」に震災でなくなられた方々を偲び、復興の願いを込めることで、防 | 3,500 |
| 147 | 神戸 | 1.17を3.11につなぐコミュニティ・エンパワメント事業 | さわやか近畿・大槌交流実行委員会 | 1 | 17 | ～ | 1 | 20 | 兵庫県下 | ・阪神・淡路大震災の復興過程における住民主体のコミュニティ・エンパワメントのノウハウを、岩手県大槌町のグループリーダーに伝えることで、現地における住民主体の復興まちづくりに活かす。 ・東日本大震災被災者がコミュニティ・エンパワメントのノウハウを習得することで支えられる側から支える側に回る機会を与えることができた。 | 350 |
| 148 | 神戸 | 和田岬地域総合防災訓練 | 和田岬校区防災福祉コミュニティ | 1 | 19 | ～ | 1 | 19 | ホームズスタジアム神戸・御崎公園 | ・東南海・南海地震を想定し、暫定的に設けられた津波高の4.2mを受けて、総合防災訓練を実施。 ・地域住民の避難訓練、救出救護訓練、起震車・煙体験、放水訓練等や、要援護者の避難・介助訓練と情報伝達訓練を新たに実施。 ・訓練を通して、地域住民の連帯感の醸成と災害時の対応能力向上を図ることができた。 | 270 |
| 149 | 神戸 | 「1.17は忘れない」震災メモリアル～うおざきフェスタ～震災の記憶を風化させない | 特定非営利活動法人コミュニティ・サポートセンター神戸 | 1 | 19 | ～ | 1 | 19 | 東灘区民センター小ホール | ・阪神・淡路大震災の追悼を行い、震災で培われた絆の大切さを再確認した。 ・東北被災者の方々との交流や地域の方々との繋がりがりづくりから地域防災力の強化を図り、二つの大震災を風化させないための絆の再生を誓った。 | 300 |
| 150 | 神戸 | 震災18年 いのちの鼓動 輝ける未来へ 第74回こどものためのコンサート | 特定非営利活動法人IMMC | 1 | 20 | ～ | 1 | 20 | 北野工房のまち3階講堂 | ・こどものためのコンサート「震災18年 いのちの鼓動 輝ける未来へ！」を開催。 ・ひょうご防災特別推進員による防災講義を実施 ・震災教訓を子ども達に継承し、自分たちのまち・人・未来を大切に思う心を育む。 ・「しあわせ運べるように」「あすという日が」を演奏し、震災犠牲者を追悼し、命の大切さ、支え合う大切さを学んだ。 | 150 |
| 151 | 神戸 | 第6回「防災を考える区民のつどい」 | 防災を考える区民のつどい実行委員会 | 3 | 3 | ～ | 3 | 3 | 灘区民ホール | ・防災劇による防災知識等の普及啓発の実施 ・灘防災の賞の贈呈と活動の紹介 ・南海地震や都賀川事故等を踏まえた防災講演会の実施 ・南海地震等への理解と、水難事故の風化防止を図る。 | 400 |
| 152 | 神戸 | 震災をわすれない伝えようカーナから東日本へ…帰ってきた1日だけのjazz喫茶 | 元氣村・移動サービス | 3 | 3 | ～ | 3 | 3 | リバティームカーナ | ・震災当時を思い出し、一日だけのジャズ喫茶を復活。阪神・淡路大震災時に実施したがんばろうコーヒーを復活させ、震災体験を語り継ぐことができた。 ・アカペラグループの音楽を聴きながら、住民が語り合う場を設け、情報共有を密にすることで、地域の災害発生時の被害抑止に繋げる。 | 50 |

| 番号 | 県民局 | 事業名 | 実施団体 | 実施月日 | | | | | 実施場所 | 事業形態と主な実施内容 | 参加者数 (人/部) |
|-----|-----|----------------------------|-------------------|------|----|---|---|----|-------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------|
| | | | | 月 | 日 | ～ | 月 | 日 | | | |
| 153 | 阪神南 | 震災に備えて！ | あしやまつり連絡協議会 | 1 | 1 | ～ | 3 | 31 | 芦屋市内 | <ul style="list-style-type: none"> 市内各地区の公園、会館等における地車祭り等において、炊き出し訓練と試食を実施。 炊き出し訓練会場にて、次の震災に備えることを放送。 地車祭り等に参加する市民に地域の防災意識の向上を目的として、炊き出しの訓練を兼ねて、地域住民のコミュニケーションを図り、助け合える環境づくりを行って地域の防災力を高めた。 | 500 |
| 154 | 阪神南 | 鳴尾東地域防災の日事業「1.17をわすれない」 | 西宮市鳴尾東コミュニティ協議会 | 1 | 27 | ～ | 1 | 27 | 西宮市上田公園他 | <ul style="list-style-type: none"> 1.17の鎮魂のために献灯と献花。 震災記録映画の上映と写真パネル展等の展示により記憶を再生。 防災訓練、炊き出し(炊飯、豚汁)、テント張り等避難所を設置、家具転倒防止器材の使用模型を展示。 津波想定(新想定)モデルの模型の展示及び対策をPR。 小学生の防災カルタの製作と作品を製本化。 3.11震災記憶に隠れるように1.17震災記憶の空洞化が進んでいる。特に子ども達に対する震災記憶の再認識と伝承を図った。 | 700 |
| 155 | 阪神南 | 防災安全対策啓発事業 | (公社)芦屋市シルバー人材センター | 2 | 1 | ～ | 2 | 28 | 芦屋市内全戸 | <ul style="list-style-type: none"> 高齢者等宅の家具転倒防止器具 & 住宅用火災警報器設置の推進を図り、防災意識を高める広報誌を編集作成し、芦屋市全戸に配布する。また、フェニックス共済の加入を促進する内容も掲載。 起こり得るかもしれない災害に対し、避難所の再確認のため市内の避難所を掲載。 同じ地域住民が対応する事で、安心して設置業務を請け負う事が出来、各家庭の防災力が向上。地域住民が互いに扶助し、自然災害による被害からの早期復興。 | 43,058 |
| 156 | 阪神南 | 1.17は忘れない 三条コミスク地域自主防災総合訓練 | 三条コミュニティ・スクール | 2 | 10 | ～ | 2 | 10 | 芦屋 山手夢保育園 前面道路 | <ul style="list-style-type: none"> 阪神風水害の土石流模型の実験、雪を土に三手の土嚢積訓練 三角巾による応急手当訓練、AEDの取り扱いと心肺蘇生 応急担架作りと搬送訓練等の防災訓練の実施 避難所での大量炊き出し訓練の実施 要支援者の車椅子での避難支援訓練の実施 昭和13年の阪神大水害の言伝え、東北大震災からの新たな教訓から、長雨時に起こるかも知れない南海地震や山津波から身を守り、平素からの心構えと対策を想定した訓練を実施。 | 1,000 |
| 157 | 阪神南 | 第7回 震災を忘れないメモリアルコンサート | 特定非営利活動法人ええうた工房 | 2 | 24 | ～ | 2 | 24 | いたみホール 中ホール | <ul style="list-style-type: none"> 過去6回行ってきた演奏会の7回目。 復興ソングや、高田三郎さんの人の生き方や大切の思う気持ちを歌う合唱曲を中心に歌いながら、特に中高年の方々へ向けて懐かしく元気の出る歌も歌いながら安らぎと復興へとつなげていくことができた。 最後に会場全員で「上を向いて歩こう」を歌い、東北へのエールにもなった。 | 95 |

| 番号 | 県民局 | 事業名 | 実施団体 | 実施月日 | | | | | 実施場所 | 事業形態と主な実施内容 | 参加者数 (人/部) |
|-----|-----|--------------------------------|-------------------|------|----|---|---|----|--------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------|
| | | | | 月 | 日 | ～ | 月 | 日 | | | |
| 158 | 阪神南 | 兵庫と東北、被災者をつなぐ「出あい」と「笑顔ふれあいまつり」 | 地域を結ぶ笑顔の会 | 3 | 17 | ～ | 3 | 17 | 尼崎市立小田公民館 | ・東北への支援活動をしてきた尼崎の震災復興住宅等の元高齢被災者と東北の被災者が出あう場をつくる。東北の経験に学び、南海地震への備えを地域ですすめた。 ・尼崎の震災復興住宅の住民及び地域住民を対象としたイベント、阪神淡路大震災や東日本大震災の現状や教訓について取り扱う寸劇の上演、展示、資料配布、被災高齢者への元気づける落語、各種出し物を上演。 ・ホタテ・キャンドルやホタテ・グラタンなど東北産品の販売促進を通じて被災地支援を行った。 ・団体交流を促進することにより地域力・防災力を高められた。 | 250 |
| 159 | 阪神北 | 桜台小学校区DIG訓練 防災マップ作り | 桜台地区コミュニティ協議会 | 11 | 25 | ～ | 3 | 25 | 桜台小学校 | ・DIG訓練の中で防災マップを作成し、それを印刷したものを構成自治会員、構成PTA会員など約4,000名に配付。 ・マップ作成により、地域の見直し並びに防災意識の向上につながることができた。 | 4,150 |
| 160 | 阪神北 | 加茂小学校区の防災マップ | 加茂小学校区コミュニティ推進協議会 | 1 | 15 | ～ | 3 | 29 | 加茂ふれあい会館 | ・危険箇所、崖、狭い路地、河川、防火栓、避難施設等を記入し、避難経路を考慮できるような防災マップを作成し、地域3,300世帯を対象に配付を行った。 ・マップ作成、地域の防災意識の向上と発災時の適切な避難行動につながる。 | 3,300 |
| 161 | 阪神北 | 長尾地区 災害時一人も見逃さない地域合同防災訓練 | 宝塚市長尾地区まちづくり協議会 | 1 | 11 | ～ | 1 | 11 | 長尾小学校 | ・長尾小学校での避難所運営方法を網羅した「避難所運営委員会行動マニュアル(長尾小版)」をもとに、本格的な避難所開設訓練を実施。 ・地域住民のみならず、南海トラフ地震で阪神北地域へ避難する阪神沿岸地域の避難者受入をも想定することにより、発災時のスムーズな受け入れにつながることができた。 | 1,600 |
| 162 | 阪神北 | けやき台総合防災訓練 | けやき台自主防災会 | 1 | 14 | ～ | 1 | 14 | けやき台小学校グラウンド | ・消火訓練の体験実施と避難訓練の実施 ・炊き出しと応急救護講習及び救出用具の展示啓蒙 ・地域の防災力と防災意識の向上を目的に、災害予防、対応、役割を認識することにより、自助・共助の精神を養い、地域の連帯を高めた。 | 500 |
| 163 | 東播磨 | 塩市地区ハザードマップ作成及び訓練実施事業 | 塩市自主防災会 | 1 | 1 | ～ | 3 | 31 | 塩市公会堂他 | ・昨年の台風12号の浸水に伴い、塩市地区独自のハザードマップを作成し、全戸配布を行い、このマップに基づいて避難訓練や消火栓の使用訓練等を行った。 ・地域独自の一目で対処出来るマップを作り、減災効果を上げ、これに基づく訓練を行った。 | 280 |

| 番号 | 県民局 | 事業名 | 実施団体 | 実施月日 | | | | | 実施場所 | 事業形態と主な実施内容 | 参加者数 (人/部) |
|-----|-----|----------------------------|--------------------|------|----|---|---|----|-----------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------|
| | | | | 月 | 日 | ～ | 月 | 日 | | | |
| 164 | 東播磨 | 災害時要援護者と一緒に考える避難・啓発WS&セミナー | 明石の災害時要援護者の避難を考える会 | 11 | 19 | ～ | 3 | 31 | 明石市西部市民会館 | <ul style="list-style-type: none"> ・災害時要援護者へのインタビュー、情報発信自治会及び明石高専生により、要援護者が望む避難のあり方を明らかにできた。 ・災害時要援護者による協働ワークショップ&セミナーの開催 ・減災セミナー&防災用品の展示会及び炊き出し、クイズラリーの実施。 ・災害時要援護者の理解及び支援の在り方の基礎についての啓発を行った。避難に関する課題や要望を地域へ情報発信、課題解決ができた。 | 90 |
| 165 | 東播磨 | 元気な魚住いいだっ子シンポジウム() | 住みよい住みたい魚住まちづくり協議会 | 2 | 17 | ～ | 2 | 17 | 明石市立魚住小学校 | <ul style="list-style-type: none"> ・講話(出前講座) 運針安全のまちづくりについて 地域活動「うおずみ人・ふるさと生プロジェクト」 ・体験学習 AED操作、炊き出し訓練等 ・炊き出しでおにぎりづくりを実施。 ・地域住民だけでなく、地域の中・高・高専生との交流、体験を通じて地域力向上を加味したい。防災資機材の点検により、不測の事態に備える。 | 300 |
| 166 | 北播磨 | 自由が丘連合自主防災会 自主防災訓練 | 自由が丘連合自主防災会 | 1 | 20 | ～ | 1 | 20 | 自由が丘中央公園 | <ul style="list-style-type: none"> ・避難・誘導訓練、給水・炊き出し訓練、煙避難訓練 ・救急・救命訓練、初期消火訓練など実践放水訓練の実施 ・三木市消防団による倒壊家屋からの負傷者救助訓練を実施、行政・防災関係機関と連携して実施し、防災意識の向上と、防威力強化を図った。 | 677 |
| 167 | 北播磨 | “1.17に学ぶ”第13回大木町自主防災訓練 | 大木町自主防災会 | 1 | 27 | ～ | 1 | 27 | 大木町集落センター | <ul style="list-style-type: none"> ・ひょうご特別推進員による防災講座や、フェニックス共済の説明を実施 ・住民に分かりやすい防災クイズの実施 ・防災備品、資機材の使用法を学ぶ ・近隣の相互扶助・防災活動により災害被害を防ぎ、軽減を図るとともに、防災意識の向上を図った。 | 126 |
| 168 | 中播磨 | 防災マップの作成と避難訓練 | 御幸自治会 | 11 | 1 | ～ | 1 | 31 | 御幸公民館 | <ul style="list-style-type: none"> ・防災マップの作成(150部)、防災マニュアルと共に各戸配付。 ・防災マップ説明会及びマップを活用した避難訓練の実施。避難先:手柄山(健常者)、リバーシティ(障がい者等) ・住民台帳の見直しと整備(災害時要援護者の把握等) ・地域の避難場所や危険箇所の周知、住民避難時における問題点の抽出と対策を検討した。 | 108 |

| 番号 | 県民局 | 事業名 | 実施団体 | 実施月日 | | | | | 実施場所 | 事業形態と主な実施内容 | 参加者数 (人/部) |
|-----|-----|---------------------------------|-------------------|------|----|---|---|----|-----------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------|
| | | | | 月 | 日 | ～ | 月 | 日 | | | |
| 169 | 中播磨 | ちびっこ防衛隊2012！～わが町防災マップ～ | BOY自然活動教室 | 1 | 13 | ～ | 3 | 17 | 姫路市防災センター、広畑公民館 | ・市防災センターの見学。 ・町内を歩いての安全マップづくりと炊き出し体験。 ・応急救援講座として、救命処置や応急処置を学んだ。 ・安全マップを活用した夜回りの実施。 ・地域の小学生が災害時・緊急時に対応できるよう訓練や講座を通して防災について体験学習した。 | 50 |
| 170 | 但馬 | 香美町香住区柴山地区3地区合同災害時における通信・情報伝達訓練 | 香美町防災士連絡会 | 2 | 3 | ～ | 3 | 28 | 柴山地区公民館ほか | ・災害時に電話・道路等の通信手段が途絶した場合を想定し、次のことを行った。 ・情報伝達手段の確保(連絡用防災旗の作成、アマチュア無線の活用)。 ・情報伝達訓練の実施・検証 ・住民への周知(チラシの発行) ・山と海に挟まれた地区であるため、災害時の情報伝達手段の確保を図り、住民の防災意識を高められた。 | 458 |
| 171 | 但馬 | 防災マップで住居の安全を図ろう勉強会 | 三坂区防災委員会 | 3 | 10 | ～ | 3 | 10 | 三坂町会館 | ・防災マップをもちいて要援護者訓練を実施。 ・講師を招き、室内安全対策(家具の転倒防止等)及び住宅の耐震化の啓発を実施。 ・防災マップをポスター型に作成。 ・23号台風や北但大震災、東日本大震災を受け、防災の形骸化を防ぐため、防災意識の啓発勉強会を開催。 | 60 |
| 172 | 丹波 | 東日本大震災から2年 忘れない 3.11 | いのちのうた | 3 | 20 | ～ | 3 | 20 | たんば田園交響ホール | ・津波災害被災地のいわき市から二人の講師を招き、防災・復興をテーマに講演会を開催。 ・いわき市出身の世界的指揮者小林研一郎氏といわき市の中学生の交流等、生命・希望をテーマにした映画「天心の譜」の上映などを実施。 ・被災地の現状を知ること、改めて災害に備えたり、家族で話合う機会づくりとできた。 | 370 |
| 173 | 淡路 | フェニックス合唱団鎮魂の譜 | 北淡震災記念公園フェニックス合唱団 | 1 | 17 | ～ | 1 | 17 | 北淡震災記念公園 | ・震災記念の日時に、復興への想いを込めて、歌を参加者全員で合唱。 ・参加者に住宅耐震化のチラシを配布する。耐震化を促し、室内安全対策のビデオを放映することで安全対策の実施を呼びかけた。 ・炊き出しを実施。 ・震災犠牲者を追悼し、広く震災の体験を語り継ぐことにより、防災意識を向上させる契機となった。 | 150 |

| 番号 | 県民局 | 事業名 | 実施団体 | 実施月日 | | | | | 実施場所 | 事業形態と主な実施内容 | 参加者数 (人/部) |
|-----|-----|-------------------------------------------------------------------------|--------------------------|------|----|---|---|----|--------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------|
| | | | | 月 | 日 | ~ | 月 | 日 | | | |
| 174 | 淡路 | 防災意識高揚の集い | ウエストコーストぐんげ商店街協同組合 | 1 | 17 | ~ | 1 | 17 | 復興拠点ゾーンコミュニティ住宅前広場 | ・町内会別避難訓練の実施、ハザードマップ説明会 ・停電時のアークライト活用炊き出し体験 ・鎮魂キャンドルの設置 ・鎮魂のハンドベル、消防隊ラッパ演奏、和太鼓演奏 ・足湯コミュニティの開催による地域住民交流 ・防災特別専門家による防災啓蒙講演会の開催 ・震災体験を語り継ぎ、防災訓練などを行うことにより防災に対する意識の高揚と安全で安心な地域社会の大切さを再認識した。 | 250 |
| 175 | 淡路 | 第2回東日本大震災復興支援コンサート及び復興支援活動パネル展 A Music Letter ~ 淡路島から東日本へ 音楽のメッセージ ~ | A Music Letterコンサート実行委員会 | 3 | 10 | ~ | 3 | 10 | 洲本市文化体育館・文化ホール | ・阪神・淡路大震災の被災地である淡路島から東北被災地の心の復興を願いコンサートを企画。スーパーキッズ・オーケストラとプロの演奏家、地元淡路島の音楽家たちで構成するオーケストラと、地元少年少女の合唱等により、震災犠牲者の鎮魂を行うとともに、復興を願い、音楽でエールを送ることができた。 ・会場ホワイエにて消防等の復興支援活動状況のパネル展示や、防災グッズ等の展示を実施。 ・東日本大震災遺児・孤児育英資金募金を実施。 ・復興支援活動のパネル展示等で防災意識の向上を促すことができた。 | 500 |
| | | | | | | | | | | 合計(地域) | 162,765 |
| | | | | | | | | | | 総計(全県 + 地域) | 371,140 |

| 区分 | 件数(件) | 交付決定額(千円) |
|------|-------|-----------|
| 全県事業 | 91 | 49,065 |
| 地域事業 | 84 | 18,326 |
| 合計 | 175 | 67,391 |